

南三陸町国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成30年3月
南三陸町

第1章 計画策定について	
1. 背景	3
2. 計画期間	3
3. 基本方針	4
4. データヘルス計画の位置づけ	5
5. 実施体制・関係者連携	5
第2章 現状と課題把握	
1. 保険者の特性把握	6
(1) 基本情報	6
(2) 医療費等の状況	8
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	9
① 特定健康診査	9
② 特定保健指導	11
(4) 介護保険の状況	13
(5) 主たる死因の状況	17
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)	19
(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況	19
(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容	21
① 特定健康診査事業	21
② 特定保健指導事業	22
③ 健診異常値放置者受診勧奨事業	23
④ 生活習慣病予防啓発事業	24
⑤ ジェネリック医薬品差額通知事業	25
3. 医療情報分析結果	26
(1) 基礎統計	26
(2) 高額レセプトの件数及び医療費	28
① 高額レセプトの件数及び割合	28
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	30
(3) 疾病別医療費	32
① 大分類による疾病別医療費統計	32
② 中分類による疾病別医療費統計	36
4. 保健事業実施に係る分析結果	46
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	46
(2) 特定健康診査に係る分析	47
(3) 特定保健指導に係る分析	49
(4) 健診異常値放置者に係る分析	51
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析	53
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	54
(7) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	59
5. 分析結果に基づく健康課題の把握	62
(1) 分析結果	62

	(2) 分析結果に基づく課題とその対策	66
第3章	保健事業実施計画	
	1. 各事業の目的と概要一覧	67
	2. 全体スケジュール	69
	3. 各事業の実施内容と評価方法	70
	(1) 特定健康診査受診勧奨事業	70
	(2) 特定保健指導事業	71
	(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業	72
	(4) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	73
	(5) 糖尿病性腎症重症化予防事業	75
	(6) ジェネリック医薬品差額通知事業	76
第4章	その他	
	1. データヘルス計画の見直し	77
	(1) 評価	77
	(2) 評価時期	77
	2. 計画の公表・周知	77
	3. 個人情報の取り扱い	78
	4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	78
年度別	特定健康診査結果分析	
	1. 有所見者割合	
	2. 質問別回答状況	
巻末資料		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
	2. 用語解説集	

第1章 計画策定について

1. 背景

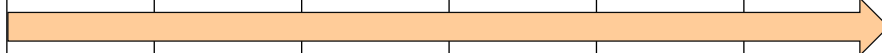
「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちにに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度までの6年間とする。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

3. 基本方針

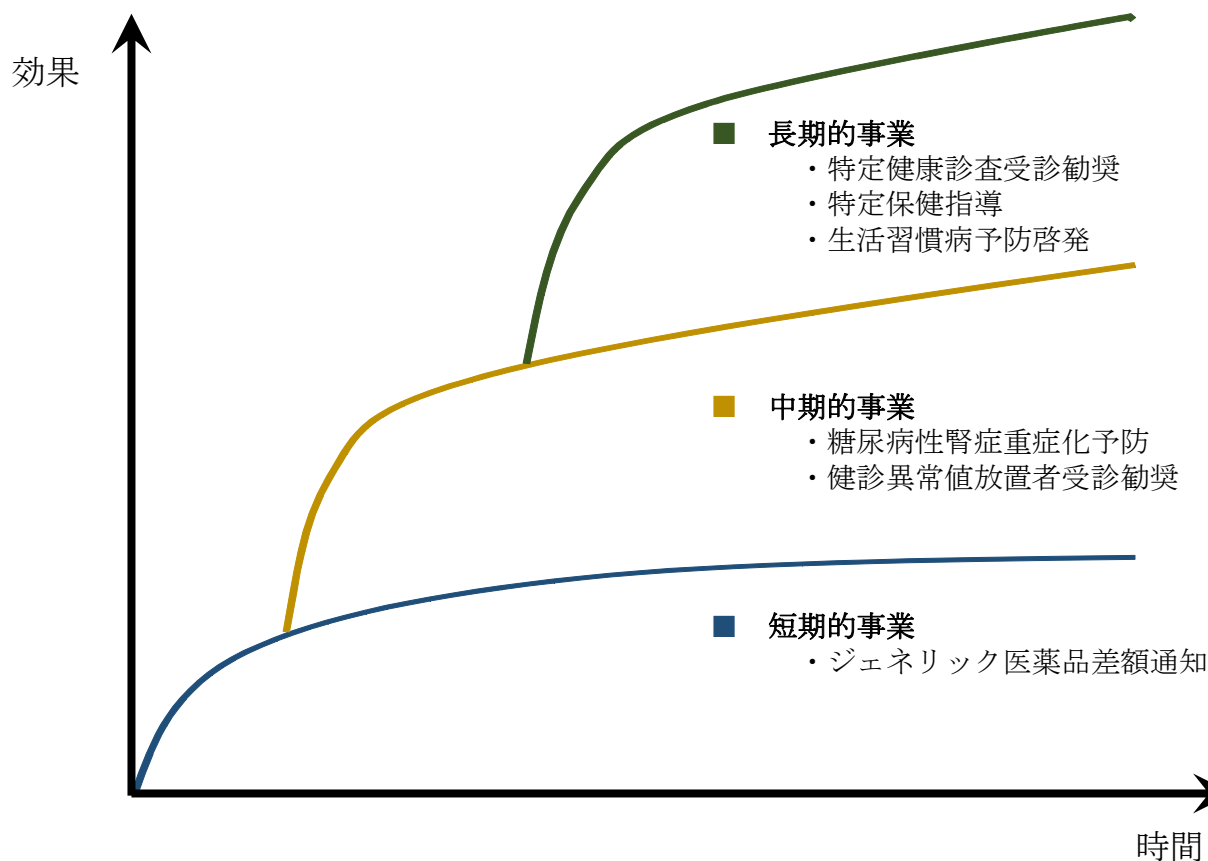
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を南三陸町国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



4. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「第2次みやぎ21健康プラン」及び「南三陸町第2期健康づくり計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、国保担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、医師会、栄養士会等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用、または新たな会議体の設置、被保険者向け説明会等を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本町の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は34.2%であり、県との比較で1.5倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は4,560人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は34.0%である。国民健康保険被保険者平均年齢は50.1歳である。

人口構成概要(平成28年度)

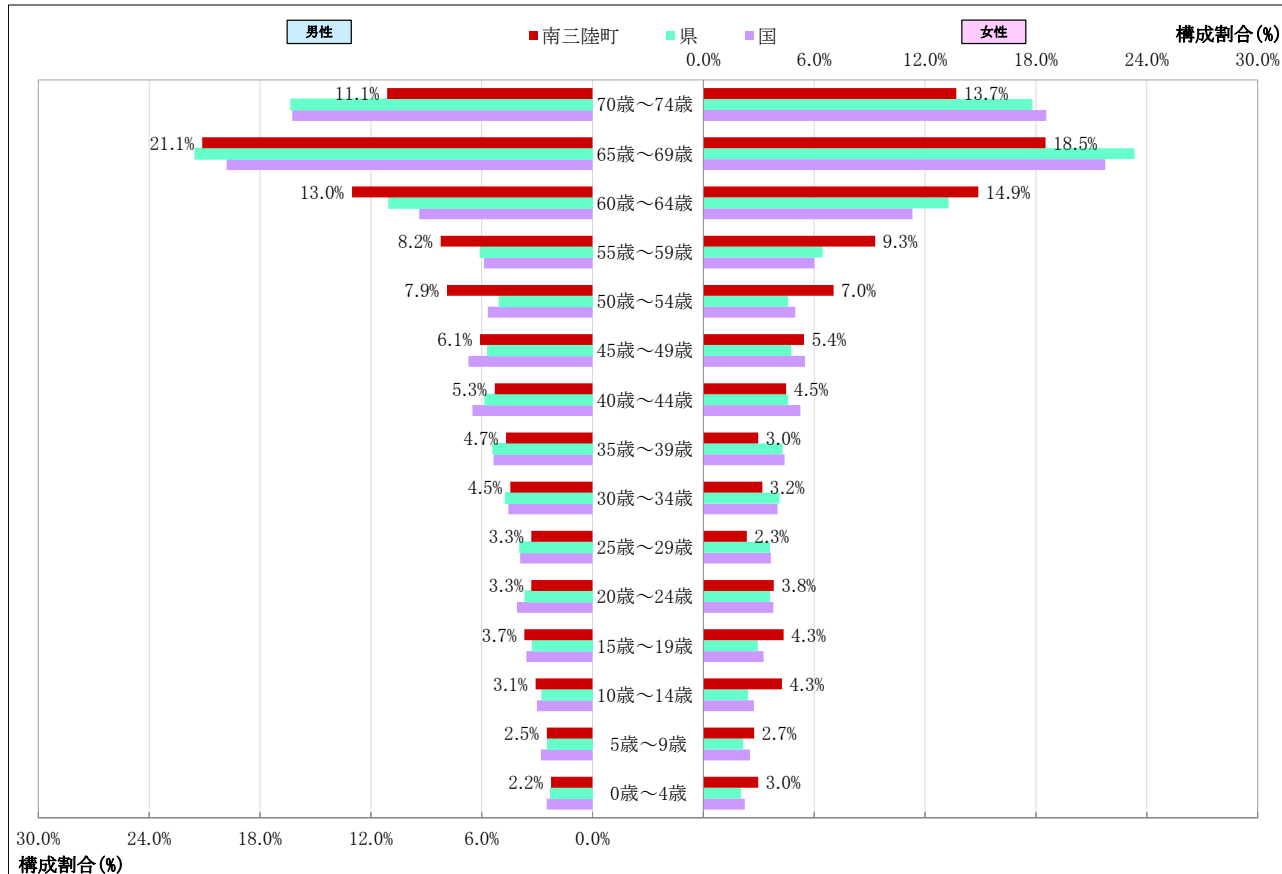
	人口(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者 数(人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
南三陸町	13,426	34.2%	4,560	34.0%	50.1	5.4%	12.0%
県	2,314,241	22.5%	549,807	23.8%	51.8	8.3%	9.5%
国	124,852,975	23.2%	32,587,223	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は宮城県を指す。以下すべての表において同様である。

出典: 国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」、

南三陸町の人口、高齢化率、国保被保険者数、国保加入率は「国保事業統計」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

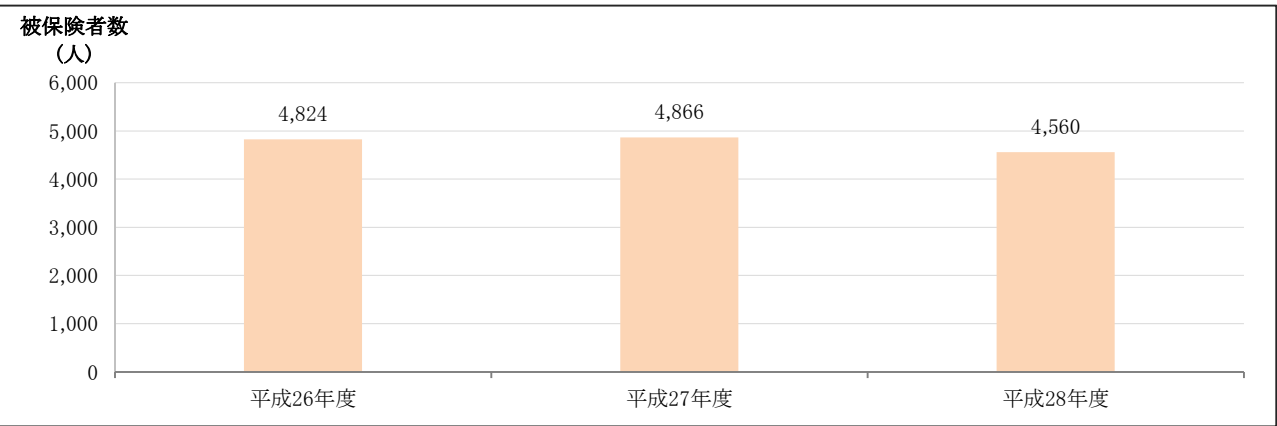
本町の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数4,560人は、平成26年度4,824人より264人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢50.1歳は平成26年度49.2歳より0.9歳上昇している。

年度別 人口構成概要

区分		人口 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
南三陸町	平成26 年度	14,068	32.0%	4,824	34.3%	49.2	5.4%	12.0%
	平成27 年度	13,717	33.2%	4,866	35.5%	49.6	5.4%	12.0%
	平成28 年度	13,426	34.2%	4,560	34.0%	50.1	5.4%	12.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
人口、高齢化率、国保被保険者数、国保加入率は「国保事業統計」

年度別 被保険者数



出典:国保事業統計

(2) 医療費等の状況

本町の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	南三陸町	県	国
千人当たり			
病院数	0.0	0.3	0.3
診療所数	1.0	3.0	3.0
病床数	0.0	46.0	46.8
医師数	1.6	9.8	9.2
外来患者数	573.9	707.9	668.3
入院患者数	24.3	18.7	18.2
受診率	598.2	726.6	686.5
一件当たり医療費(円)	42,660	34,760	35,330
一般(円)	42,810	34,720	35,270
退職(円)	31,940	36,590	37,860
後期(円)	0	0	0
外来			
外来費用の割合	55.4%	61.6%	60.1%
外来受診率	573.9	707.9	668.3
一件当たり医療費(円)	24,640	21,980	21,820
一人当たり医療費(円)	14,140	15,560	14,580
一日当たり医療費(円)	18,010	14,770	13,910
一件当たり受診回数	1.4	1.5	1.6
入院			
入院費用の割合	44.6%	38.4%	39.9%
入院率	24.3	18.7	18.2
一件当たり医療費(円)	468,190	519,780	531,780
一人当たり医療費(円)	11,380	9,700	9,670
一日当たり医療費(円)	25,440	33,810	34,030
一件当たり在院日数	18.4	15.4	15.6

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

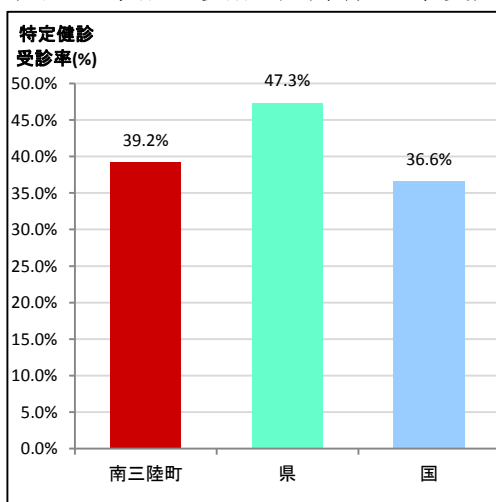
本町の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
南三陸町	39.2%
県	47.3%
国	36.6%

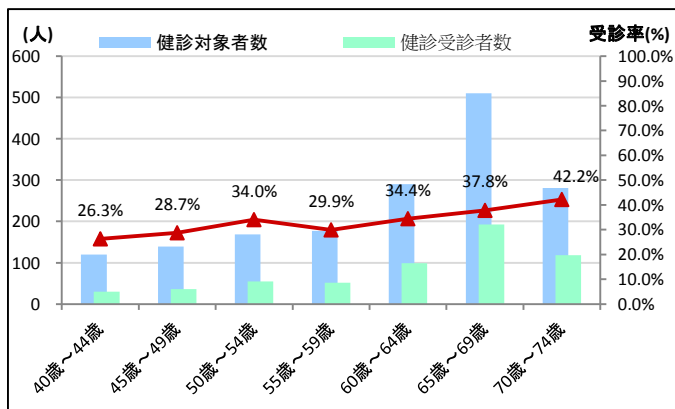
出典: 法定報告値

特定健康診査受診率(平成28年度)



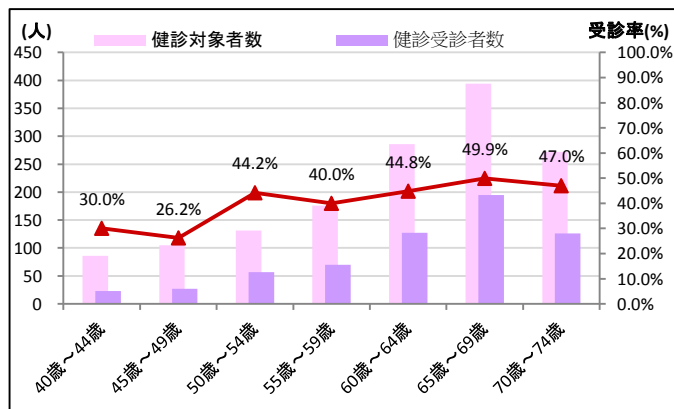
出典: 法定報告値

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典: 法定報告値

(女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



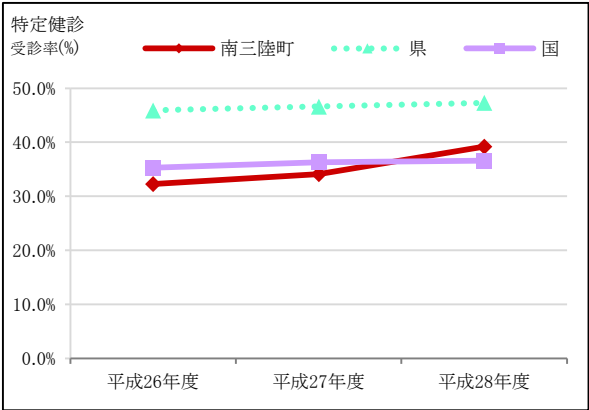
本町の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率39.2%は、平成26年度の32.3%より6.9ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成 26年 度	平成 27年 度	平成 28年 度
南三陸町	32.3%	34.1%	39.2%
県	45.9%	46.6%	47.3%
国	35.3%	36.3%	36.6%

出典:法定報告値

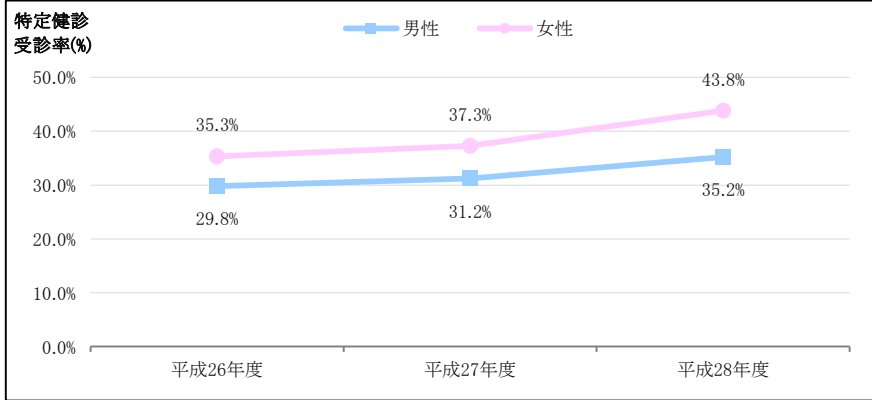
年度別 特定健康診査受診率



出典:法定報告値

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率35.2%は、平成26年度の29.8%より5.4ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率43.8%は、平成26年度の35.3%より8.5ポイント上昇している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:法定報告値

②特定保健指導

本町の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

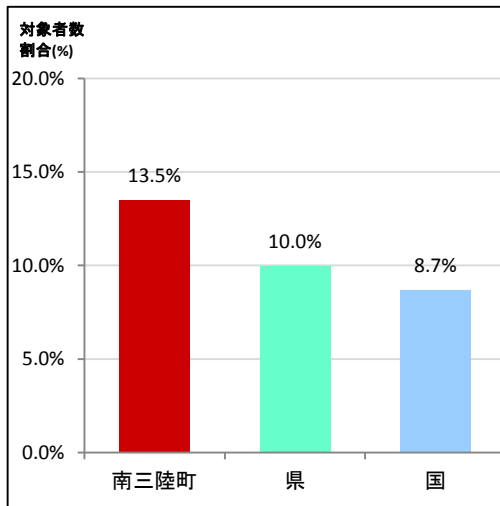
特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
南三陸町	13.5%	9.5%	23.0%	1.4%
県	10.0%	4.0%	14.0%	18.8%
国	8.7%	3.2%	11.9%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

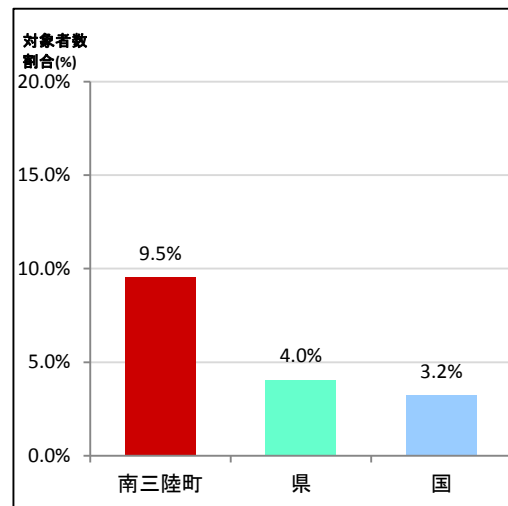
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」及び法定報告値

動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



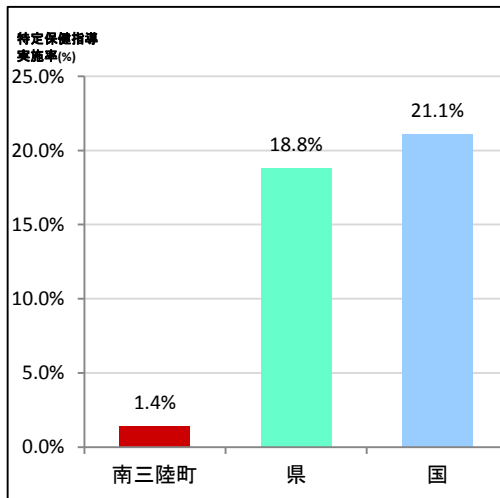
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」及び法定報告

積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」及び法定報告

特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」及び法定報告

本町の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。
平成28年度の特定保健指導実施率1.4%は平成26年度1.9%より0.5ポイント低下している。

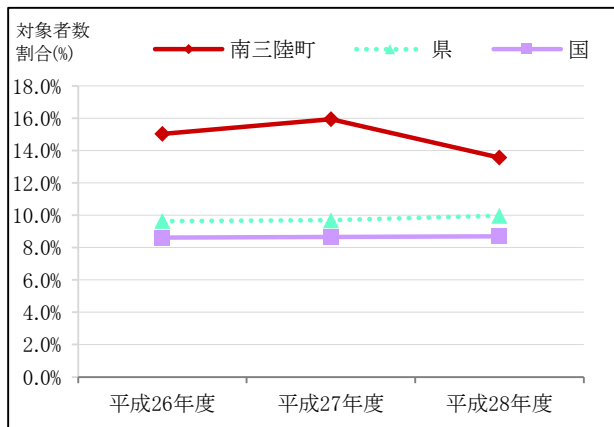
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援 対象者数割合			積極的支援 対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導 実施率		
	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度
南三陸町	15.0%	15.9%	13.6%	10.8%	11.8%	9.5%	25.8%	27.8%	23.1%	1.9%	2.9%	1.4%
県	9.6%	9.7%	10.0%	4.3%	4.1%	4.0%	13.9%	13.8%	14.0%	16.5%	16.9%	18.8%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	11.9%	20.6%	20.5%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

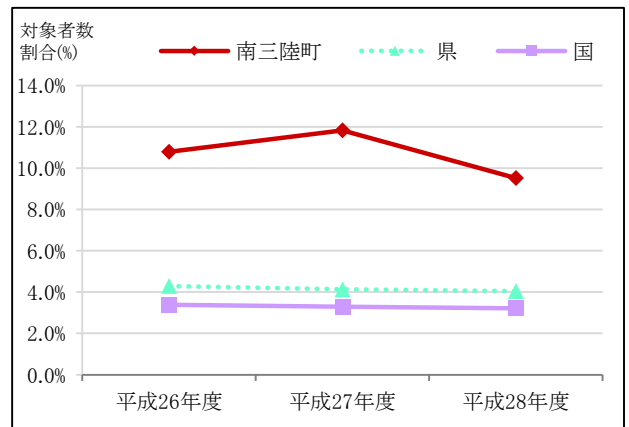
出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」及び法定報告

年度別 動機付け支援対象者数割合



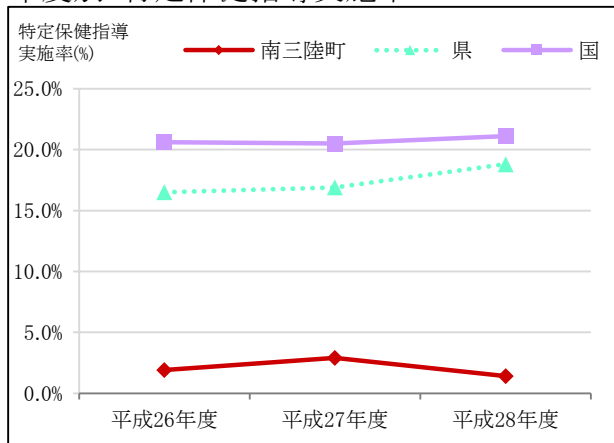
出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」及び法定報告

年度別 積極的支援対象者数割合



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」及び法定報告

年度別 特定保健指導実施率



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」及び法定報告

(4) 介護保険の状況

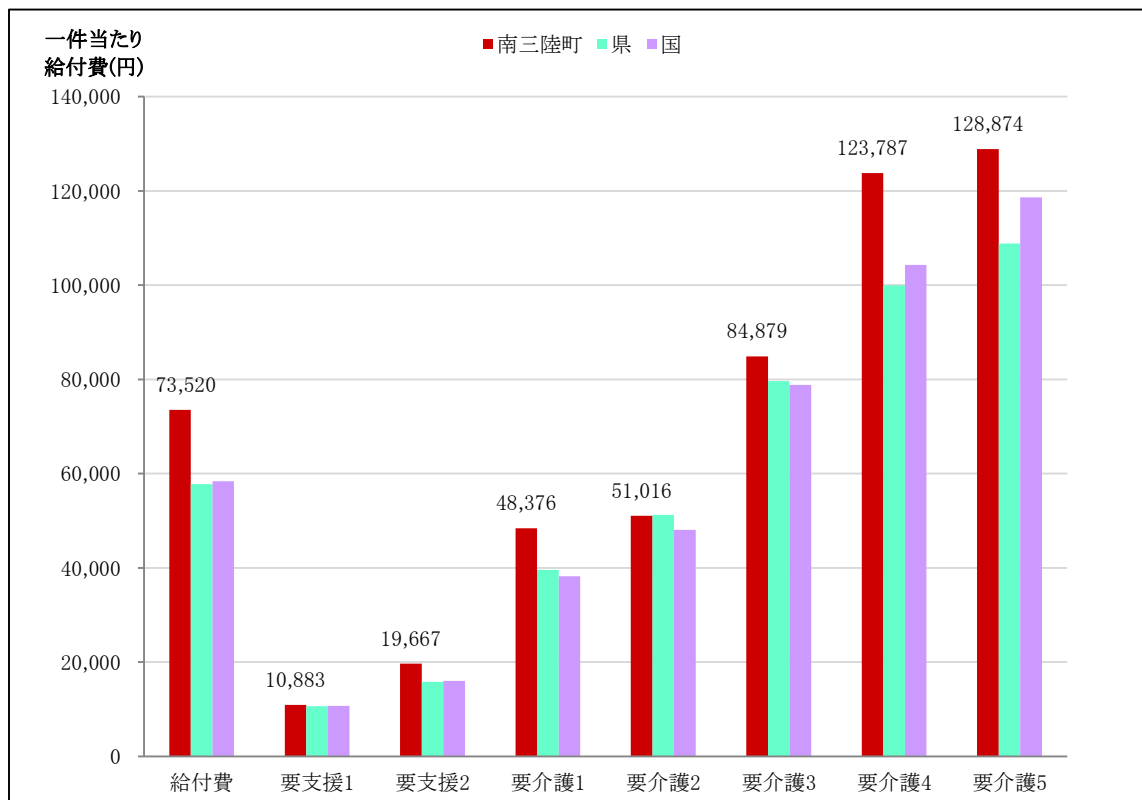
本町の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	南三陸町	県	国
認定率	16.2%	21.0%	21.2%
認定者数(人)	868	112,787	6,034,085
第1号(65歳以上)	848	109,644	5,882,340
第2号(40～64歳)	20	3,143	151,745
一件当たり給付費(円)			
給付費	73,520	57,798	58,349
要支援1	10,883	10,671	10,730
要支援2	19,667	15,783	15,996
要介護1	48,376	39,579	38,200
要介護2	51,016	51,248	48,047
要介護3	84,879	79,641	78,791
要介護4	123,787	99,951	104,264
要介護5	128,874	108,839	118,599

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

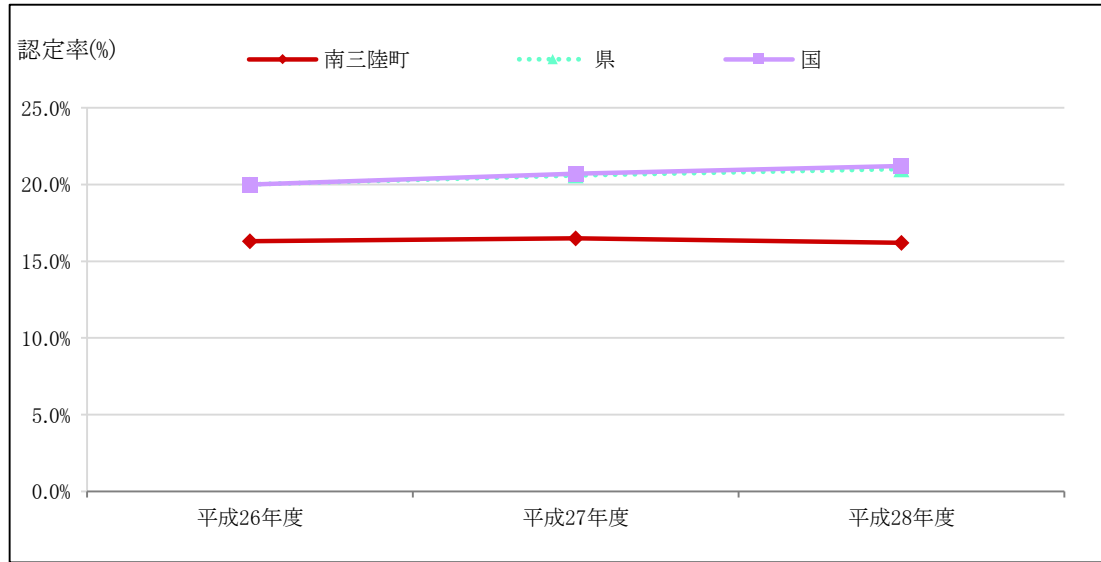
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率16.2%は平成26年度16.3%より0.1ポイント低下しており、平成28年度の認定者数868人は平成26年度881人より13人減少している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
南三陸町	平成26年度	16.3%	881	859	22
	平成27年度	16.5%	877	857	20
	平成28年度	16.2%	868	848	20
県	平成26年度	20.0%	109,111	105,716	3,395
	平成27年度	20.6%	111,244	108,016	3,228
	平成28年度	21.0%	112,787	109,644	3,143
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,034,085	5,882,340	151,745

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

本町の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると2,482人となり、認定者は平均2.9疾病を有していることがわかる。

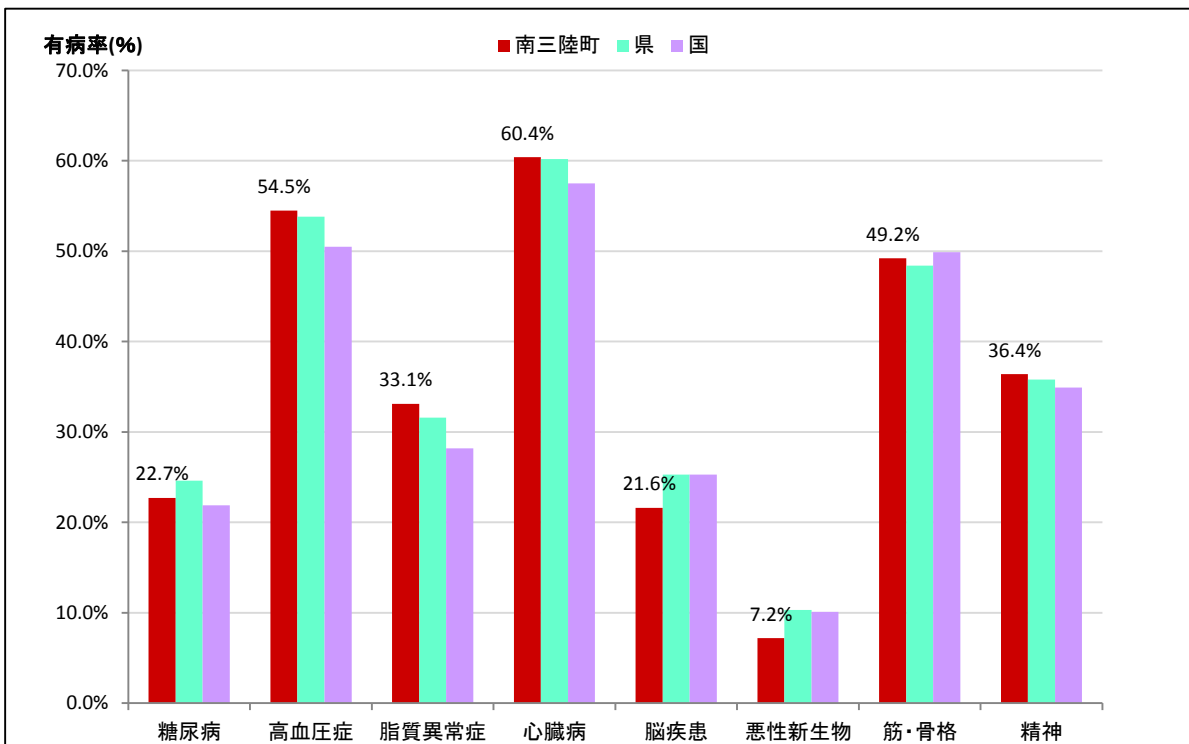
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分		南三陸町	順位	県	順位	順位	国	順位
認定者数(人)		868		112,787			6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	197	6	28,341	7	7	1,343,240	7
	有病率	22.7%		24.6%			21.9%	
高血圧症	実人数(人)	470	2	61,510	2	2	3,085,109	2
	有病率	54.5%		53.8%			50.5%	
脂質異常症	実人数(人)	284	5	36,246	5	6	1,733,323	5
	有病率	33.1%		31.6%			28.2%	
心臓病	実人数(人)	515	1	68,917	1	1	3,511,354	1
	有病率	60.4%		60.2%			57.5%	
脳疾患	実人数(人)	187	7	28,609	6	5	1,530,506	6
	有病率	21.6%		25.3%			25.3%	
悪性新生物	実人数(人)	65	8	11,956	8	8	629,053	8
	有病率	7.2%		10.3%			10.1%	
筋・骨格	実人数(人)	441	3	55,426	3	3	3,051,816	3
	有病率	49.2%		48.4%			49.9%	
精神	実人数(人)	323	4	41,064	4	4	2,141,880	4
	有病率	36.4%		35.8%			34.9%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

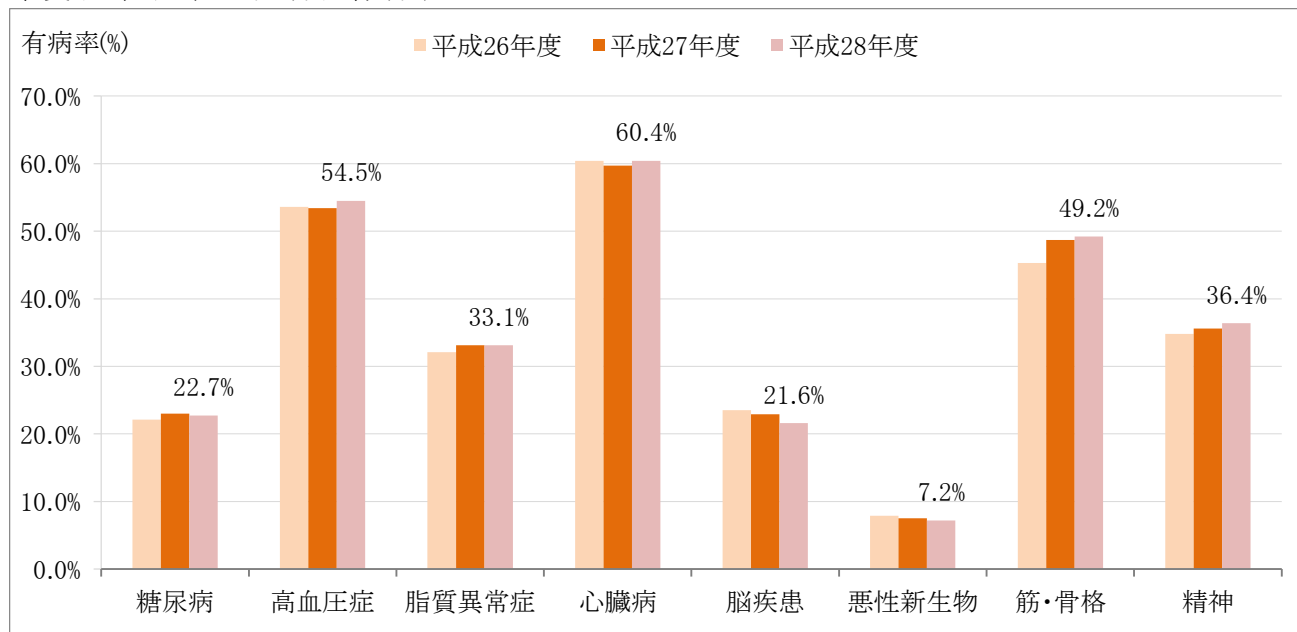
本町の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数2.9疾病は平成26年度からほぼ横ばいである。

年度別 認定者の疾病別有病状況 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分		南三陸町						県			国		
		平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
認定者数(人)		881		877		868		109,111	111,244	112,787	5,324,880	5,751,982	6,034,085
糖尿病	実人数(人)	207	7	208	6	197	6	27,123	27,921	28,341	1,089,285	1,241,024	1,343,240
	有病率(%)	22.1%		23.0%		22.7%		24.5%	24.6%	24.6%	20.3%	21.4%	21.9%
高血圧症	実人数(人)	486	2	473	2	470	2	58,891	60,483	61,510	2,551,660	2,865,466	3,085,109
	有病率(%)	53.6%		53.4%		54.5%		53.4%	53.7%	53.8%	47.9%	49.7%	50.5%
脂質異常症	実人数(人)	296	5	285	5	284	5	33,988	35,620	36,246	1,386,541	1,586,963	1,733,323
	有病率(%)	32.1%		33.1%		33.1%		30.4%	31.2%	31.6%	25.7%	27.3%	28.2%
心臓病	実人数(人)	547	1	522	1	515	1	66,100	67,734	68,917	2,914,608	3,261,576	3,511,354
	有病率(%)	60.4%		59.7%		60.4%		60.0%	60.2%	60.2%	54.8%	56.7%	57.5%
脳疾患	実人数(人)	219	6	182	7	187	7	28,824	29,007	28,609	1,324,669	1,455,985	1,530,506
	有病率(%)	23.5%		22.9%		21.6%		26.5%	25.9%	25.3%	25.2%	25.4%	25.3%
悪性新生物	実人数(人)	81	8	64	8	65	8	11,139	11,585	11,956	493,808	569,967	629,053
	有病率(%)	7.9%		7.5%		7.2%		9.9%	10.2%	10.3%	9.2%	9.8%	10.1%
筋・骨格	実人数(人)	428	3	432	3	441	3	52,625	54,298	55,426	2,505,146	2,813,795	3,051,816
	有病率(%)	45.3%		48.7%		49.2%		47.5%	48.2%	48.4%	47.1%	48.9%	49.9%
精神	実人数(人)	325	4	312	4	323	4	38,810	40,183	41,064	1,720,172	1,963,213	2,141,880
	有病率(%)	34.8%		35.6%		36.4%		35.0%	35.5%	35.8%	32.2%	33.8%	34.9%

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

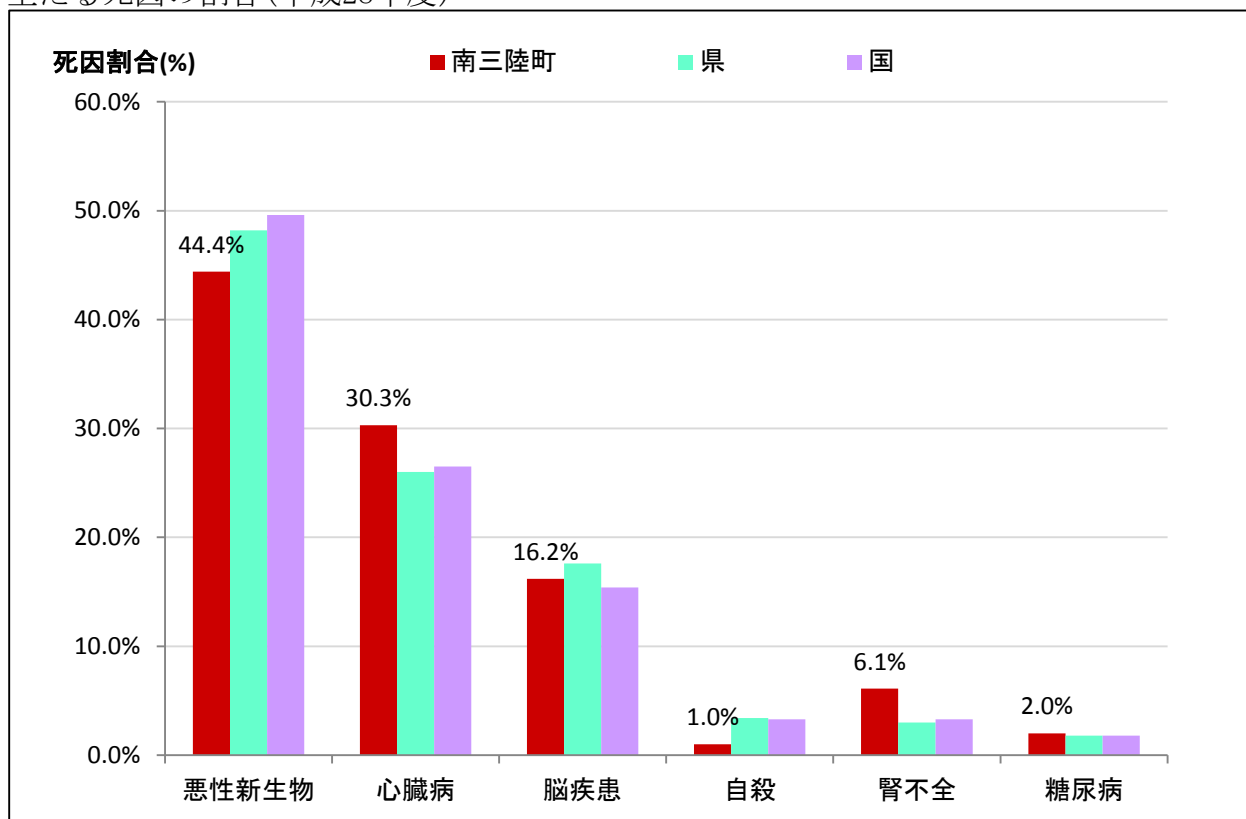
本町の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	南三陸町		県	国
	人数(人)	割合(%)		
悪性新生物	44	44.4%	48.2%	49.6%
心臓病	30	30.3%	26.0%	26.5%
脳疾患	16	16.2%	17.6%	15.4%
自殺	1	1.0%	3.4%	3.3%
腎不全	6	6.1%	3.0%	3.3%
糖尿病	2	2.0%	1.8%	1.8%
合計	99			

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

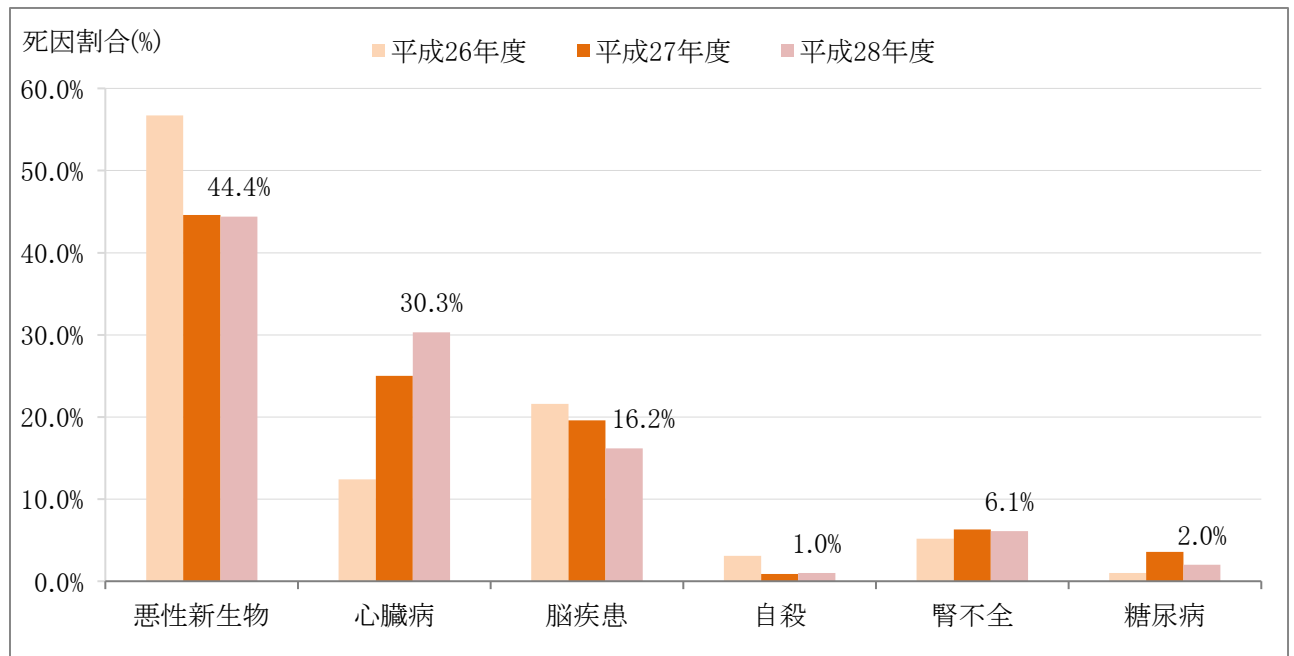
本町の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数44人は平成26年度55人より11人減少しており、心臓病を死因とする人数30人は平成26年度12人より18人増加している。また、脳疾患を死因とする人数16人は平成26年度21人より5人減少している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	南三陸町						県			国		
	人数(人)			割合(%)								
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
悪性新生物	55	50	44	56.7%	44.6%	44.4%	48.0%	48.4%	48.2%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	12	28	30	12.4%	25.0%	30.3%	24.8%	24.8%	26.0%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	21	22	16	21.6%	19.6%	16.2%	19.0%	18.4%	17.6%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	3	1	1	3.1%	0.9%	1.0%	3.2%	3.4%	3.4%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	5	7	6	5.2%	6.3%	6.1%	3.1%	3.3%	3.0%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	1	4	2	1.0%	3.6%	2.0%	1.9%	1.8%	1.8%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	97	112	99									

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況は以下のとおりである。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成28年度 から 平成29年度	特定健康診査事業	メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防	40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施する。
平成28年度 から 平成29年度	特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。
平成28年度 から 平成29年度	健診異常値放置者 受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健康診査の受診結果が要医療判定者で、血圧、脂質、血糖のうち、2つ又は3つの危険因子があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
平成28年度 から 平成29年度	生活習慣病予防啓発 事業	生活習慣病に対する正しい知識の習得	生活習慣病予防のための健康教室、健康相談、栄養教室等を実施する。
平成28年度 から 平成29年度	ジェネリック 医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

5:目標達成
4:改善している
3:横ばい
2:悪化している
1:評価できない

実施内容	目標値		達成状況		評価
	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	
全受診対象者に対し、受診券を発送した。その後、対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認した。	受診率 37.0%	受診率 40.0%	受診率 39.2%	受診率(見込) 40.6%	5
指導対象者に対して適切な保健指導を行った。健康診査データより検査値の推移を確認した。	実施率 7.0%	実施率 10.0%	実施率 1.4%	実施率(見込) 3.5%	3
対象者に医療機関受診勧奨通知を送付し、受診行動をレセプトで確認した。特定健診会場で、受診勧奨のための個別相談を実施した。また、受診がない対象者にはフォローを行った。	受診率 50.0%	受診率 50.0%	受診率 23.1%	受診率(見込) 39.6%	4
生活習慣病予防セミナー、生活習慣病予防出前講座や特定健診会場での健康相談会を実施した。皆で健診に行こう作戦として、地区イベントや福祉健康まつりで啓発活動を実施した。	実施回数 48回以上 参加者数 1,725人以上	実施回数 48回以上 参加者数 1,725人以上	実施回数 57回 参加者数 1,850人	実施回数(見込) 55回 参加者数(見込) 2,149人	5
対象者に年2回郵送した。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討した。	通知率 100%	通知率 100%	通知率 100% 226通	通知率 100% 225通	5

(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容

第1期データヘルス計画に基づき実施した事業の詳細は以下の通りである。

①特定健康診査事業

【実施年度】平成28年度から平成29年度

【事業目的】メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防

【事業概要】40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施する。

【実施内容】対象者全員に受診券を発送した。その後、対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認した。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率	—	37.0%	40.0%

【達成状況（法定報告値）】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込)
対象者数	3,284人	3,081人	3,229人
受診者数	1,119人	1,207人	1,310人
受診率	34.1%	39.2%	40.6%

【考察】平成28年度の受診率は39.2%であり、平成29年度も同水準の受診率を維持する見込みとなっている。平成27年度の34.1%からは、5ポイント以上上昇しており、今後においても、目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

②特定保健指導事業

【実施年度】平成28年度から平成29年度

【事業目的】生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面談や電話等で行う。

【実施内容】指導対象者に対して適切な保健指導を行った。健康診査データより検査値の推移を確認した。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施率	—	7.0%	10.0%

【達成状況（法定報告値）】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込)
対象者数	310人	278人	282人
利用者数	9人	4人	10人
実施率	2.9%	1.4%	3.5%

【考察】平成29年度の実施率の見込みが3.5%となり、平成27年度の2.9%から0.6ポイント上昇することが見込まれる。今後においても、目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

③健診異常値放置者受診勧奨事業

【実施年度】平成28年度から平成29年度

【事業目的】虚血性心疾患のリスクのある人の受診行動を確認する。未治療者を減らし、適切な医療に繋げる。

【事業概要】特定健康診査の受診結果が要医療判定者で、血圧、脂質、血糖のうち、2つ又は3つの危険因子を保有しているにも関わらず、医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】対象者に医療機関受診勧告書を送付し、受診行動をレセプトで確認した。健診会場で受診勧奨のための個別相談を実施した。また、受診がない対象者にはフォローを行った。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度
受診勧奨通知率	100%	100%
医療機関受診率	50.0%以上	50.0%以上

【達成状況】

	平成28年度	平成29年度 (見込)
受診勧奨通知率	100%	—
受診勧奨通知数	207通	—
医療機関受診率	23.1%	39.6%

【考察】平成28年度の医療機関受診率は23.1%であった。平成29年度の取り組みにより、医療機関受診率は、平成30年1月末現在で把握したところ39.6%となり16.5ポイント上昇した。今後においても、目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

④生活習慣病予防啓発事業

【実施年度】平成28年度から平成29年度

【事業目的】生活習慣病に対する正しい知識の習得

【事業概要】生活習慣病予防のための健康教室、健康相談、栄養教室等を実施する。

【実施内容】生活習慣病予防セミナー、生活習慣病予防出前講座や特定健診会場での健康相談会を実施した。皆で健診に行こう作戦として、地区イベントや福祉健康まつりで啓発活動を実施した。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度
健康教室等開催回数	48回以上	48回以上
参加者数	1,725人以上	1,725人以上

【達成状況】

	平成28年度	平成29年度 (見込)
健康教室等開催回数	57回	55回
参加者数	1,850人	2,149人

【考察】平成28年度は、開催回数、参加人数とも目標を達成し、平成29年度も目標達成が見込まれる。今後においても、目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

⑤ジェネリック医薬品差額通知事業

【実施年度】平成28年度から平成29年度

【事業目的】ジェネリック医薬品の普及率向上

【事業概要】レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】年2回実施し、平成28年度と平成29年度で計451通郵送した。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討した。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
通知率	—	100%	100%

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
差額通知数(通)	335通	226通	225通
通知率	100%	100%	100%

【考察】平成28年度と平成29年度の通知率は100%であり、計画どおり実施した。今後においてもジェネリック医薬品への切り替えを促し、普及率の向上に努める。

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、南三陸町国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均4,630人、レセプト件数は平均5,228件、患者数は平均2,269人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均55,328円となった。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	被保険者数(人)	4,836	4,759	4,730	4,704	4,643	4,583	4,561
B	レセプト件数(件)	入院外	2,787	2,889	2,908	2,898	2,790	2,817
		入院	109	107	127	123	127	124
		調剤	2,246	2,363	2,326	2,350	2,259	2,263
		合計	5,142	5,359	5,361	5,371	5,176	5,204
C	医療費(円) ※	119,743,100	118,709,910	133,785,910	128,373,700	137,070,570	125,178,770	119,309,900
D	患者数(人) ※	2,265	2,293	2,335	2,306	2,248	2,246	2,268
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	24,761	24,944	28,285	27,290	29,522	27,314	26,159
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,287	22,152	24,955	23,901	26,482	24,054	22,839
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	52,867	51,771	57,296	55,669	60,974	55,734	52,606
B/A	受診率(%)	106.3%	112.6%	113.3%	114.2%	111.5%	113.6%	114.5%
D/A	有病率(%)	46.8%	48.2%	49.4%	49.0%	48.4%	49.0%	49.7%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	被保険者数(人)	4,570	4,548	4,549	4,541	4,539	4,630	
B	レセプト件数(件)	入院外	2,789	2,748	2,785	2,924	2,821	33,849
		入院	118	115	123	109	119	1,426
		調剤	2,289	2,202	2,320	2,169	2,289	27,464
		合計	5,196	5,065	5,228	4,975	5,228	62,739
C	医療費(円) ※	128,245,730	127,939,160	131,749,170	116,905,610	119,675,720	125,557,271	1,506,687,250
D	患者数(人) ※	2,258	2,214	2,267	2,201	2,331	2,269	27,232
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	28,063	28,131	28,962	25,744	26,366	27,117	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	24,682	25,259	25,201	23,499	22,007	24,015	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	56,796	57,786	58,116	53,115	51,341	55,328	
B/A	受診率(%)	113.7%	111.4%	114.9%	109.6%	119.8%	112.9%	
D/A	有病率(%)	49.4%	48.7%	49.8%	48.5%	51.4%	49.0%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数4,630人は、平成26年度4,961人より331人減少しており、医療費15億669万円は平成26年度14億5,371万円より5,298万円増加している。また、一カ月平均の患者数2,269人は、平成26年度2,339人より70人減少している。

年度別 基礎統計

			平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	一カ月平均の被保険者数(人)		4,961	4,933	4,630
B	レセプト件数(件)	入院外	34,975	35,803	33,849
		入院	1,275	1,318	1,426
		調剤	27,920	28,839	27,464
		合計	64,170	65,960	62,739
C	医療費(円) ※		1,453,713,470	1,492,128,500	1,506,687,250
D	一カ月平均の患者数(人) ※		2,339	2,385	2,269
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)		293,023	302,499	325,401
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		22,654	22,622	24,015
D/A	有病率(%)		47.1%	48.3%	49.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

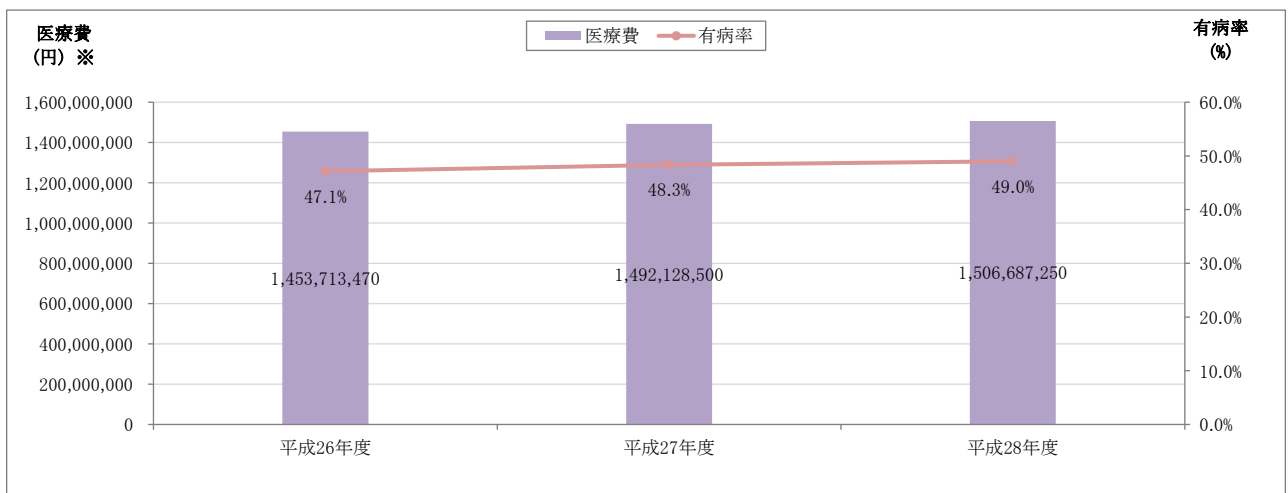
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは412件発生しており、レセプト件数全体の0.7%を占める。高額レセプトの医療費は4億2,798万円となり、医療費全体の28.4%を占める。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	5,142	5,359	5,361	5,371	5,176	5,204	5,224
B	高額レセプト件数(件)	27	29	38	38	39	31	30
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.5%	0.5%	0.7%	0.7%	0.8%	0.6%	0.6%
C	医療費(円) ※	119,743,100	118,709,910	133,785,910	128,373,700	137,070,570	125,178,770	119,309,900
D	高額レセプトの医療費(円) ※	31,438,200	32,258,530	40,061,350	35,357,670	48,259,000	35,895,380	29,804,560
E	その他レセプトの医療費(円) ※	88,304,900	86,451,380	93,724,560	93,016,030	88,811,570	89,283,390	89,505,340
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	26.3%	27.2%	29.9%	27.5%	35.2%	28.7%	25.0%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	5,196	5,065	5,228	4,975	5,438	5,228	62,739
B	高額レセプト件数(件)	38	35	40	33	34	34	412
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.7%	0.8%	0.7%	0.6%	0.7%	
C	医療費(円) ※	128,245,730	127,939,160	131,749,170	116,905,610	119,675,720	125,557,271	1,506,687,250
D	高額レセプトの医療費(円) ※	37,596,180	40,183,500	40,015,910	29,525,150	27,580,170	35,664,633	427,975,600
E	その他レセプトの医療費(円) ※	90,649,550	87,755,660	91,733,260	87,380,460	92,095,550	89,892,638	1,078,711,650
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	29.3%	31.4%	30.4%	25.3%	23.0%	28.4%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

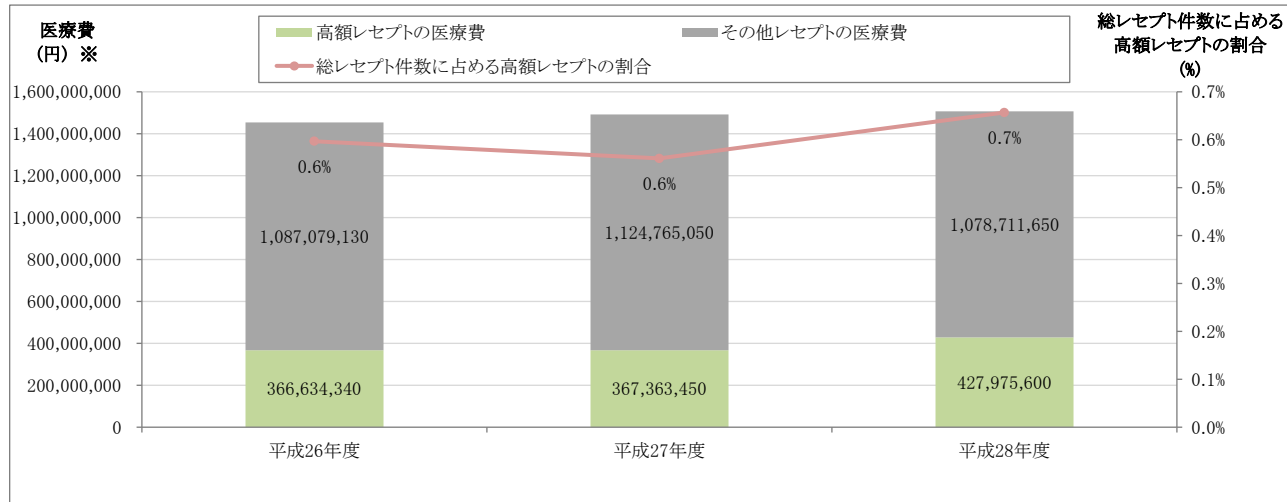
平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数412件は平成26年度383件より29件増加しており、平成28年度高額レセプトの医療費4億2,798万円は平成26年度3億6,663万円より6,135万円増加している。

年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	64,170	65,960	62,739
B	高額レセプト件数(件)	383	370	412
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.6%	0.7%
C	医療費(円) ※	1,453,713,470	1,492,128,500	1,506,687,250
D	高額レセプトの医療費(円) ※	366,634,340	367,363,450	427,975,600
E	その他レセプトの医療費(円) ※	1,087,079,130	1,124,765,050	1,078,711,650
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	25.2%	24.6%	28.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
 ※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。
 ※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。
 ※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
 ※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物＜腫瘍＞」「虚血性心疾患」「気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞」である。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	膵頭部癌, 甲状腺癌, 悪性黒色腫	17	43,467,090	36,458,730	79,925,820	4,701,519
2	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性前壁中隔心筋梗塞, 不安定狭心症	11	37,502,560	8,325,980	45,828,540	4,166,231
3	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	肺癌, 下葉肺癌, 上葉肺癌	10	17,995,340	10,069,900	28,065,240	2,806,524
4	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 腰椎化膿性脊椎炎, 頸椎症性脊髄症	9	16,971,050	3,000,680	19,971,730	2,219,081
5	1113	その他の消化器系の疾患	逆流性食道炎, 後天性肛門狭窄, 小腸穿孔	8	24,818,010	1,365,630	26,183,640	3,272,955
5	1402	腎不全	慢性腎不全	8	44,577,260	23,451,580	68,028,840	8,503,605
7	1011	その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 呼吸不全, 放射線肺炎	7	22,155,700	2,495,890	24,651,590	3,521,656
7	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	化膿性関節炎・膝関節, 大腿骨頭壊死, 廃用症候群	7	15,446,360	3,213,690	18,660,050	2,665,721
7	1901	骨折	橈骨遠位端骨折, 足関節外果骨折, 足関節内果骨折	7	8,574,130	1,411,520	9,985,650	1,426,521
10	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 変形性肘関節症	6	11,663,780	1,624,020	13,287,800	2,214,633
11	0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	脳腫瘍, 耳下腺腫瘍, 壁内子宮平滑筋腫	5	8,651,620	1,413,360	10,064,980	2,012,996
11	0903	その他の心疾患	三尖弁閉鎖不全症, 持続性心房細動, 僧帽弁閉鎖不全症	5	31,560,970	3,446,400	35,007,370	7,001,474
13	0905	脳内出血	視床出血, 脳出血	4	9,812,210	475,250	10,287,460	2,571,865
13	1111	胆石症及び胆のう炎	総胆管結石性胆管炎, 胆のう結石症, 胆石性胆のう炎	4	3,099,660	964,820	4,064,480	1,016,120
13	1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫早産, 切迫子宮破裂, 常位胎盤早期剥離	4	3,581,410	116,630	3,698,040	924,510
13	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, ベースメーカ電池消耗, 前十字靱帯損傷	4	7,740,300	1,772,410	9,512,710	2,378,178
17	0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	幽門癌, 胃体部癌, 胃消化管間質腫瘍	3	5,224,240	1,490,720	6,714,960	2,238,320
17	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	直腸癌, 直腸癌術後再発	3	8,656,500	4,205,250	12,861,750	4,287,250
17	0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	子宮頸癌, 子宮体癌	3	3,927,060	2,740,210	6,667,270	2,222,423
17	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 残遺型統合失調症	3	12,436,040	300,700	12,736,740	4,245,580

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, KIT(CD117)陽性消化管間質腫瘍	22	3,534,056
	2	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 肺癌, 非小細胞肺癌	9	4,152,003
	2	1901 骨折	鎖骨骨折, 腓骨遠位端骨折, 胸椎破裂骨折	9	1,581,887
	4	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣腫瘍, 頭蓋咽頭腫, 縦隔腫瘍	7	1,289,431
	4	0906 脳梗塞	脳梗塞後遺症, 脳梗塞, 脳幹梗塞	7	3,625,897
	4	1113 その他の消化器系の疾患	クローン病, 小腸穿孔, 直腸穿孔	7	2,938,529
	4	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	肘関節拘縮, ベーチェット病, 腸管ベーチェット病	7	2,108,019
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腓頭部癌, 腓尾部癌	25	2,620,394
	2	0903 その他の心疾患	大動脈弁狭窄症, うっ血性心不全, 僧帽弁閉鎖不全症	9	3,386,502
	2	1113 その他の消化器系の疾患	クローン病, 後天性肛門狭窄, 腐食性食道炎	9	1,922,300
	2	1402 腎不全	慢性腎不全	9	5,502,900
	5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 上葉肺癌, 非小細胞肺癌	7	3,361,270
	5	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上内側部乳癌, 乳房上外側部乳癌	7	2,020,226
	5	1302 関節症	変形性膝関節症, 両側性原発性股関節症, 両側性原発性膝関節症	7	2,031,221
	5	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 腰椎化膿性脊椎炎	7	2,261,600
	5	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 植込型除細動器電池消耗, 人工股関節のゆるみ	7	2,221,336
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	腓頭部癌, 甲状腺癌, 悪性黒色腫	17	4,701,519
	2	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性前壁中隔心筋梗塞, 不安定狭心症	11	4,166,231
	3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌, 下葉肺癌, 上葉肺癌	10	2,806,524
	4	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 腰椎化膿性脊椎炎, 頸椎症性脊髓症	9	2,219,081
	5	1113 その他の消化器系の疾患	逆流性食道炎, 後天性肛門狭窄, 小腸穿孔	8	3,272,955
	5	1402 腎不全	慢性腎不全	8	8,503,605

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の16.7%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の11.4%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を

 表示する。

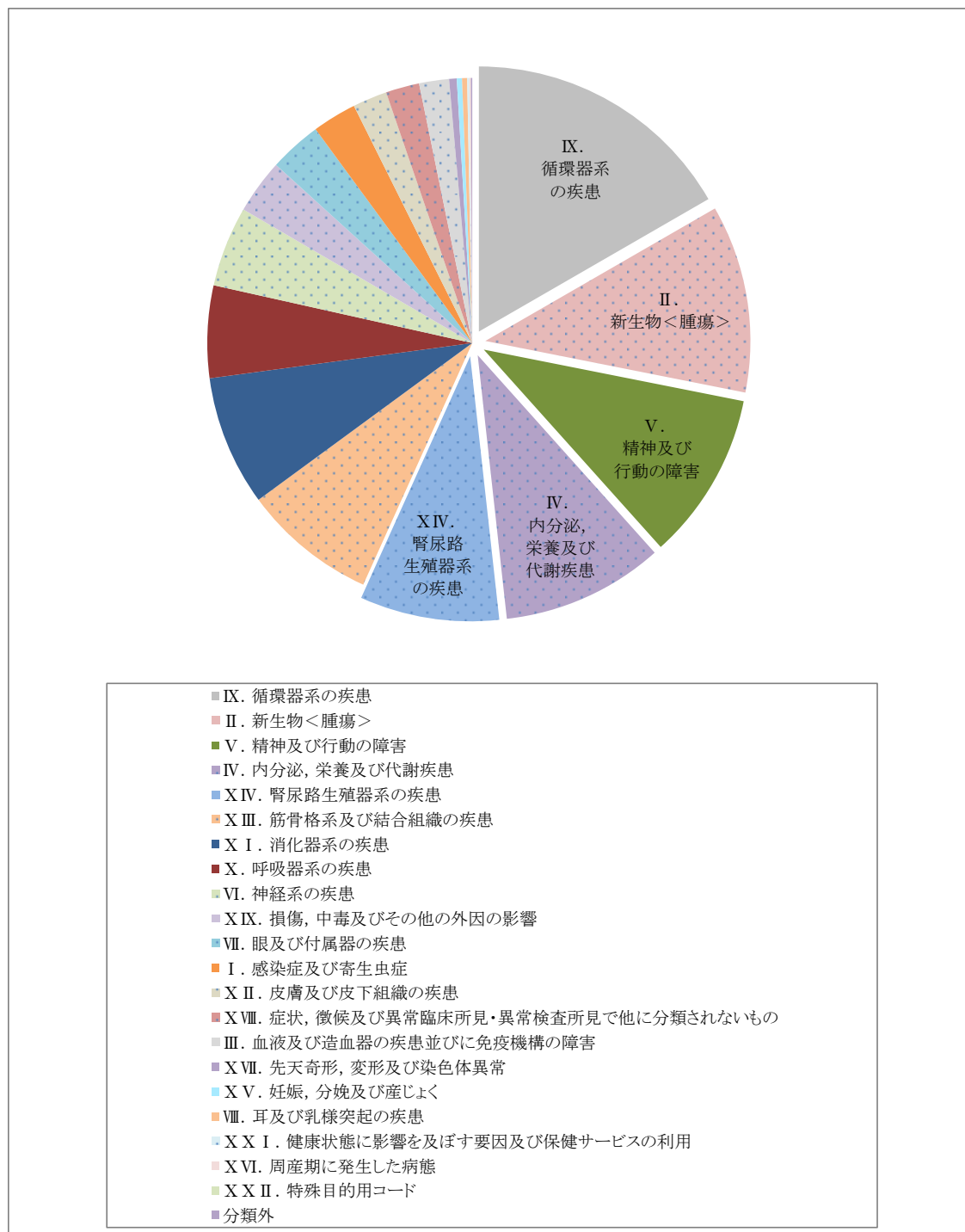
疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	40,551,170	2.7%	12	4,488	12	1,151	8	35,231	16
II. 新生物<腫瘍>	171,977,613	11.4%	2	4,054	13	949	10	181,220	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	27,416,939	1.8%	15	2,353	15	475	15	57,720	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	148,422,543	9.9%	4	25,904	2	2,133	2	69,584	9
V. 精神及び行動の障害	153,919,395	10.2%	3	6,067	9	488	14	315,409	1
VI. 神経系の疾患	73,692,484	4.9%	9	9,745	6	902	11	81,699	8
VII. 眼及び付属器の疾患	48,117,887	3.2%	11	6,323	7	1,266	6	38,008	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,651,125	0.3%	18	1,344	17	331	16	14,052	20
IX. 循環器系の疾患	250,471,775	16.7%	1	25,996	1	1,992	3	125,739	6
X. 呼吸器系の疾患	84,496,279	5.6%	8	12,471	5	2,151	1	39,282	14
X I. 消化器系の疾患 ※	119,322,123	7.9%	7	19,758	3	1,891	4	63,100	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	31,538,716	2.1%	13	6,075	8	1,226	7	25,725	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	122,934,339	8.2%	6	15,893	4	1,770	5	69,454	10
X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	127,768,810	8.5%	5	5,703	10	879	12	145,357	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	4,771,072	0.3%	17	86	20	25	20	190,843	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,413,409	0.1%	20	21	21	11	21	128,492	5
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	6,937,475	0.5%	16	267	19	79	19	87,816	7
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	30,785,227	2.0%	14	5,671	11	1,063	9	28,961	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	49,935,703	3.3%	10	2,751	14	768	13	65,020	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,949,013	0.1%	19	1,714	16	249	17	7,827	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,247,243	0.1%	21	461	18	84	18	14,848	19
合計	1,502,320,340			62,173		4,101		366,330	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物＜腫瘍＞」「精神及び行動の障害」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「腎尿路生殖器系の疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

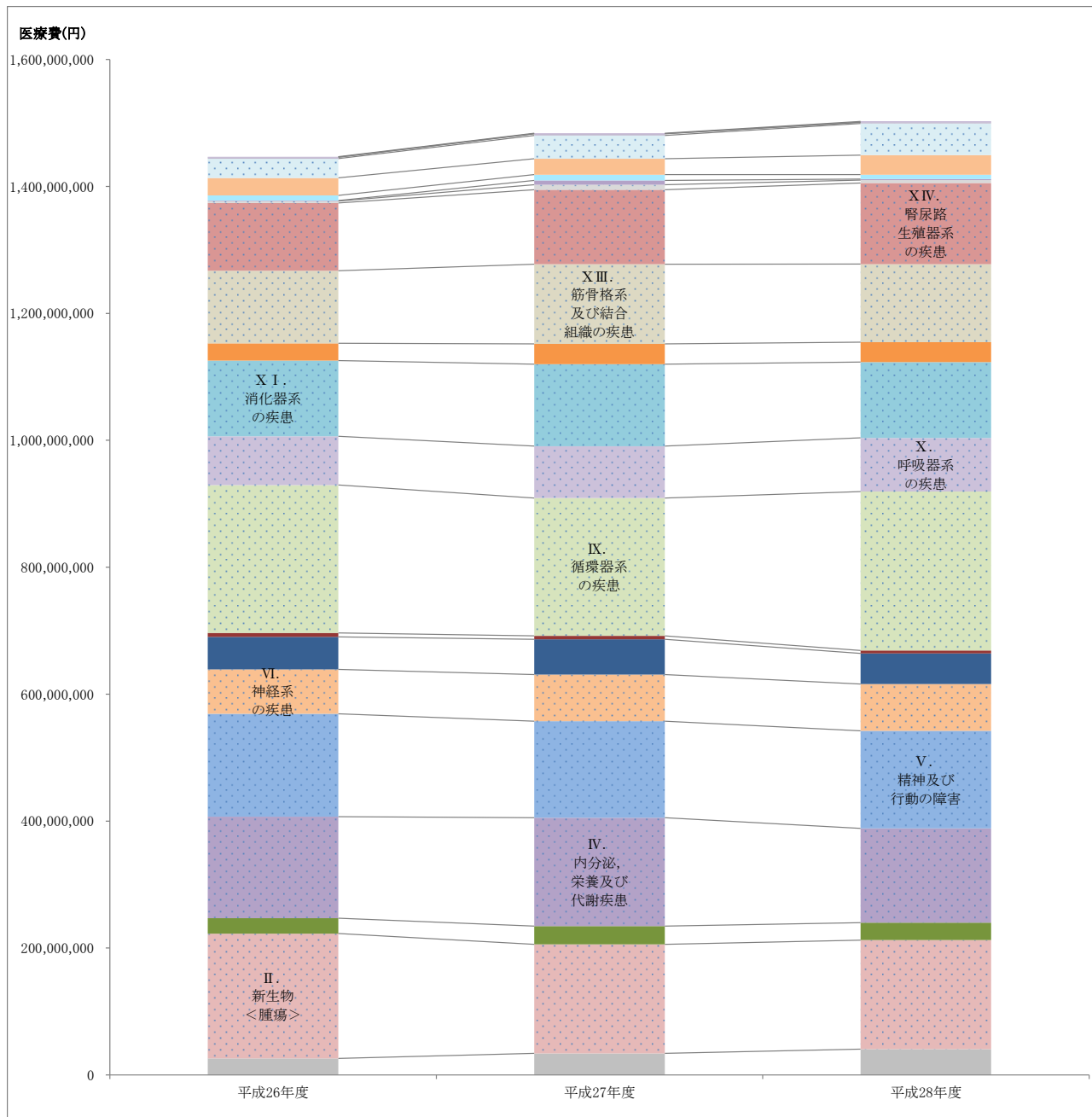
年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	26,061,838	1.8%	14	33,973,733	2.3%	12	40,551,170	2.7%	12
II. 新生物<腫瘍>	196,636,715	13.6%	2	171,720,222	11.6%	2	171,977,613	11.4%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	24,265,159	1.7%	15	28,737,057	1.9%	14	27,416,939	1.8%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	159,954,221	11.1%	4	170,743,017	11.5%	3	148,422,543	9.9%	4
V. 精神及び行動の障害	162,121,701	11.2%	3	152,290,434	10.3%	4	153,919,395	10.2%	3
VI. 神経系の疾患	70,014,652	4.8%	9	73,440,430	4.9%	9	73,692,484	4.9%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	51,163,548	3.5%	10	55,482,527	3.7%	10	48,117,887	3.2%	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	6,276,385	0.4%	17	5,429,840	0.4%	19	4,651,125	0.3%	18
IX. 循環器系の疾患	232,922,193	16.1%	1	217,187,745	14.6%	1	250,471,775	16.7%	1
X. 呼吸器系の疾患	76,860,535	5.3%	8	81,679,176	5.5%	8	84,496,279	5.6%	8
X I. 消化器系の疾患 ※	119,332,219	8.2%	5	129,087,750	8.7%	5	119,322,123	7.9%	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	27,073,811	1.9%	13	31,984,294	2.2%	13	31,538,716	2.1%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	114,412,721	7.9%	6	125,554,041	8.5%	6	122,934,339	8.2%	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	106,816,494	7.4%	7	117,487,444	7.9%	7	127,768,810	8.5%	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	3,014,106	0.2%	18	7,876,408	0.5%	17	4,771,072	0.3%	17
X VI. 周産期に発生した病態 ※	654,151	0.0%	21	6,703,894	0.5%	18	1,413,409	0.1%	20
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	8,300,645	0.6%	16	9,089,374	0.6%	16	6,937,475	0.5%	16
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	27,441,239	1.9%	12	25,075,865	1.7%	15	30,785,227	2.0%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	30,380,414	2.1%	11	36,720,270	2.5%	11	49,935,703	3.3%	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,158,400	0.1%	19	2,712,030	0.2%	20	1,949,013	0.1%	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	793,283	0.1%	20	723,249	0.0%	21	1,247,243	0.1%	21
合計	1,446,654,430			1,483,698,800			1,502,320,340		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
 ※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
 ※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
 ※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	106,195,388	7.1%	211
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	94,525,495	6.3%	147
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	84,300,560	5.6%	386
4	0901	高血圧性疾患	82,062,260	5.5%	1,534
5	0402	糖尿病	80,473,975	5.4%	1,418
6	1113	その他の消化器系の疾患	75,289,762	5.0%	1,246
7	0903	その他の心疾患	66,800,367	4.4%	850
8	0902	虚血性心疾患	49,936,185	3.3%	459
9	0403	脂質異常症	44,961,808	3.0%	1,223
10	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	44,131,752	2.9%	197

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	82,062,260	1,534	37.4%
2	0402	糖尿病	80,473,975	1,418	34.6%
3	1113	その他の消化器系の疾患	75,289,762	1,246	30.4%
4	0403	脂質異常症	44,961,808	1,223	29.8%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	30,785,227	1,063	25.9%
6	1003	その他の急性上気道感染症	7,881,185	994	24.2%
7	0703	屈折及び調節の障害	4,728,141	977	23.8%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	16,108,618	957	23.3%
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	26,568,720	900	21.9%
10	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	6,072,934	893	21.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	11,818,776	13	909,137
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	94,525,495	147	643,031
3	1402	腎不全	106,195,388	211	503,296
4	0601	パーキンソン病	7,358,445	23	319,932
5	0602	アルツハイマー病	7,619,141	24	317,464
6	0904	くも膜下出血	2,307,322	9	256,369
7	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,187,575	25	247,503
8	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	44,131,752	197	224,019
9	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	84,300,560	386	218,395
10	0501	血管性及び詳細不明の認知症	1,073,600	5	214,720

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	107,041,439	7.4%	161
	2	0901 高血圧性疾患	101,280,964	7.0%	1,611
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	81,264,267	5.6%	392
	4	0402 糖尿病	77,100,360	5.3%	1,419
	5	1402 腎不全	76,085,975	5.3%	158
	6	1113 その他の消化器系の疾患	72,702,320	5.0%	1,324
	7	0403 脂質異常症	56,318,793	3.9%	1,284
	8	0903 その他の心疾患	43,223,482	3.0%	882
	9	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	40,631,760	2.8%	211
	10	0606 その他の神経系の疾患	40,069,119	2.8%	860
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	97,194,796	6.6%	1,586
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	96,679,306	6.5%	155
	3	1402 腎不全	86,701,840	5.8%	216
	4	0402 糖尿病	83,658,593	5.6%	1,485
	5	1113 その他の消化器系の疾患	77,569,275	5.2%	1,345
	6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	70,614,413	4.8%	437
	7	0903 その他の心疾患	59,420,945	4.0%	942
	8	0403 脂質異常症	56,642,704	3.8%	1,280
	9	0606 その他の神経系の疾患	49,202,315	3.3%	863
	10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	42,461,713	2.9%	202
平成28年度	1	1402 腎不全	106,195,388	7.1%	211
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	94,525,495	6.3%	147
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	84,300,560	5.6%	386
	4	0901 高血圧性疾患	82,062,260	5.5%	1,534
	5	0402 糖尿病	80,473,975	5.4%	1,418
	6	1113 その他の消化器系の疾患	75,289,762	5.0%	1,246
	7	0903 その他の心疾患	66,800,367	4.4%	850
	8	0902 虚血性心疾患	49,936,185	3.3%	459
	9	0403 脂質異常症	44,961,808	3.0%	1,223
	10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	44,131,752	2.9%	197

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	101,280,964	1,611	36.5%
	2	0402 糖尿病	77,100,360	1,419	32.1%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	72,702,320	1,324	30.0%
	4	0403 脂質異常症	56,318,793	1,284	29.1%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	27,441,239	1,129	25.6%
	6	0703 屈折及び調節の障害	6,100,771	1,096	24.8%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	19,353,565	1,065	24.1%
	8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	6,612,646	926	21.0%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	14,572,577	903	20.5%
	10	0903 その他の心疾患	43,223,482	882	20.0%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	97,194,796	1,586	36.8%
	2	0402 糖尿病	83,658,593	1,485	34.5%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	77,569,275	1,345	31.2%
	4	0403 脂質異常症	56,642,704	1,280	29.7%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	25,075,865	1,158	26.9%
	6	1105 胃炎及び十二指腸炎	18,484,341	1,059	24.6%
	7	0703 屈折及び調節の障害	4,791,835	1,044	24.2%
	8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	7,037,913	969	22.5%
	9	0903 その他の心疾患	59,420,945	942	21.9%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	15,891,807	930	21.6%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	82,062,260	1,534	37.4%
	2	0402 糖尿病	80,473,975	1,418	34.6%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	75,289,762	1,246	30.4%
	4	0403 脂質異常症	44,961,808	1,223	29.8%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	30,785,227	1,063	25.9%
	6	1003 その他の急性上気道感染症	7,881,185	994	24.2%
	7	0703 屈折及び調節の障害	4,728,141	977	23.8%
	8	1105 胃炎及び十二指腸炎	16,108,618	957	23.3%
	9	1011 その他の呼吸器系の疾患	26,568,720	900	21.9%
	10	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	6,072,934	893	21.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	0209 白血病	8,322,114	10	832,211
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	107,041,439	161	664,854
	3	0208 悪性リンパ腫	11,090,457	23	482,194
	4	1402 腎不全	76,085,975	158	481,557
	5	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	10,412,085	25	416,483
	6	0601 パーキンソン病	8,320,870	21	396,232
	7	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	36,446,280	102	357,316
	8	0602 アルツハイマー病	7,897,446	30	263,248
	9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	11,046,537	45	245,479
	10	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	81,264,267	392	207,307
平成27年度	1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	6,345,758	8	793,220
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	96,679,306	155	623,737
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	11,178,867	23	486,038
	4	1402 腎不全	86,701,840	216	401,397
	5	1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	7,489,974	22	340,453
	6	0602 アルツハイマー病	8,955,181	27	331,673
	7	0209 白血病	2,936,173	9	326,241
	8	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	13,120,084	45	291,557
	9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	27,059,503	99	273,328
	10	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	4,760,709	18	264,484
平成28年度	1	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	11,818,776	13	909,137
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	94,525,495	147	643,031
	3	1402 腎不全	106,195,388	211	503,296
	4	0601 パーキンソン病	7,358,445	23	319,932
	5	0602 アルツハイマー病	7,619,141	24	317,464
	6	0904 くも膜下出血	2,307,322	9	256,369
	7	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,187,575	25	247,503
	8	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	44,131,752	197	224,019
	9	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	84,300,560	386	218,395
	10	0501 血管性及び詳細不明の認知症	1,073,600	5	214,720

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	1,502,320,340			62,173			4,101		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	40,551,170	2.7%		4,488	7.2%		1,151	28.1%		35,231	
0101 腸管感染症	4,313,525	0.3%	67	1,257	2.0%	44	437	10.7%	27	9,871	98
0102 結核	723,097	0.0%	103	134	0.2%	92	50	1.2%	86	14,462	89
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	194,615	0.0%	111	98	0.2%	102	39	1.0%	92	4,990	113
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	3,870,568	0.3%	68	694	1.1%	60	212	5.2%	48	18,257	76
0105 ウイルス性肝炎	16,136,518	1.1%	23	434	0.7%	69	109	2.7%	70	148,041	17
0106 その他のウイルス性疾患	1,485,408	0.1%	90	129	0.2%	95	52	1.3%	84	28,566	65
0107 真菌症	3,843,565	0.3%	69	1,009	1.6%	50	257	6.3%	42	14,956	87
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	16,152	0.0%	118	17	0.0%	113	3	0.1%	118	5,384	111
0109 その他の感染症及び寄生虫症	9,967,722	0.7%	37	1,125	1.8%	46	342	8.3%	33	29,145	62
II. 新生物<腫瘍>	171,977,613	11.4%		4,054	6.5%		949	23.1%		181,220	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	10,685,032	0.7%	36	498	0.8%	65	130	3.2%	63	82,193	30
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	7,180,580	0.5%	47	395	0.6%	73	154	3.8%	59	46,627	45
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	11,818,776	0.8%	32	154	0.2%	90	13	0.3%	110	909,137	1
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	3,554,265	0.2%	75	88	0.1%	105	37	0.9%	94	96,061	26
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	26,349,584	1.8%	16	580	0.9%	61	143	3.5%	61	184,263	14
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	6,063,313	0.4%	56	207	0.3%	87	46	1.1%	89	131,811	19
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	4,389,601	0.3%	64	140	0.2%	91	49	1.2%	87	89,584	28
0208 悪性リンパ腫	1,835,157	0.1%	86	131	0.2%	94	38	0.9%	93	48,294	44
0209 白血病	3,769,991	0.3%	71	45	0.1%	108	21	0.5%	104	179,523	15
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	84,300,560	5.6%	3	1,806	2.9%	36	386	9.4%	31	218,395	9
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	12,030,754	0.8%	31	1,021	1.6%	47	412	10.0%	28	29,201	61
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	27,416,939	1.8%		2,353	3.8%		475	11.6%		57,720	
0301 貧血	4,351,764	0.3%	66	1,471	2.4%	41	274	6.7%	39	15,882	84
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	23,065,175	1.5%	18	980	1.6%	52	265	6.5%	41	87,038	29
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	148,422,543	9.9%		25,904	41.7%		2,133	52.0%		69,584	
0401 甲状腺障害	5,646,302	0.4%	57	1,386	2.2%	43	251	6.1%	43	22,495	69
0402 糖尿病	80,473,975	5.4%	5	12,849	20.7%	4	1,418	34.6%	2	56,752	38
0403 脂質異常症	44,961,808	3.0%	9	17,530	28.2%	2	1,223	29.8%	4	36,764	55
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	17,340,458	1.2%	22	5,466	8.8%	9	685	16.7%	15	25,315	67
V. 精神及び行動の障害	153,919,395	10.2%		6,067	9.8%		488	11.9%		315,409	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	1,073,600	0.1%	97	31	0.0%	111	5	0.1%	115	214,720	10
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	3,631,910	0.2%	74	115	0.2%	98	19	0.5%	105	191,153	12
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	94,525,495	6.3%	2	2,133	3.4%	33	147	3.6%	60	643,031	2

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	1,502,320,340			62,173			4,101		

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	44,131,752	2.9%	10	2,557	4.1%	26	197	4.8%	51	224,019	8
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	4,501,368	0.3%	63	2,253	3.6%	31	215	5.2%	46	20,937	72
0506	知的障害<精神遅滞>	982,706	0.1%	100	74	0.1%	107	15	0.4%	108	65,514	34
0507	その他の精神及び行動の障害	5,072,564	0.3%	59	344	0.6%	75	47	1.1%	88	107,927	24
VI. 神経系の疾患		73,692,484	4.9%		9,745	15.7%		902	22.0%		81,699	
0601	パーキンソン病	7,358,445	0.5%	45	240	0.4%	83	23	0.6%	102	319,932	4
0602	アルツハイマー病	7,619,141	0.5%	44	267	0.4%	81	24	0.6%	99	317,464	5
0603	てんかん	8,931,796	0.6%	41	927	1.5%	54	79	1.9%	74	113,061	21
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,187,575	0.4%	54	121	0.2%	96	25	0.6%	97	247,503	7
0605	自律神経系の障害	3,780,028	0.3%	70	286	0.5%	80	24	0.6%	99	157,501	16
0606	その他の神経系の疾患	39,815,499	2.7%	11	8,370	13.5%	5	806	19.7%	13	49,399	41
VII. 眼及び付属器の疾患		48,117,887	3.2%		6,323	10.2%		1,266	30.9%		38,008	
0701	結膜炎	6,212,323	0.4%	53	3,047	4.9%	20	685	16.7%	15	9,069	102
0702	白内障	10,817,566	0.7%	34	2,523	4.1%	27	440	10.7%	26	24,585	68
0703	屈折及び調節の障害	4,728,141	0.3%	61	4,476	7.2%	10	977	23.8%	7	4,839	115
0704	その他の眼及び付属器の疾患	26,359,857	1.8%	15	4,109	6.6%	13	705	17.2%	14	37,390	54
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		4,651,125	0.3%		1,344	2.2%		331	8.1%		14,052	
0801	外耳炎	258,436	0.0%	109	162	0.3%	89	52	1.3%	84	4,970	114
0802	その他の外耳疾患	682,220	0.0%	104	116	0.2%	97	60	1.5%	81	11,370	95
0803	中耳炎	1,705,878	0.1%	89	523	0.8%	64	142	3.5%	62	12,013	93
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	175,828	0.0%	113	89	0.1%	104	28	0.7%	96	6,280	110
0805	メニエール病	547,166	0.0%	106	310	0.5%	79	58	1.4%	82	9,434	100
0806	その他の内耳疾患	310,393	0.0%	107	202	0.3%	88	43	1.0%	90	7,218	107
0807	その他の耳疾患	971,204	0.1%	101	346	0.6%	74	124	3.0%	65	7,832	104
IX. 循環器系の疾患		250,471,775	16.7%		25,996	41.8%		1,992	48.6%		125,739	
0901	高血圧性疾患	82,062,260	5.5%	4	22,811	36.7%	1	1,534	37.4%	1	53,496	40
0902	虚血性心疾患	49,936,185	3.3%	8	4,368	7.0%	11	459	11.2%	23	108,793	23
0903	その他の心疾患	66,800,367	4.4%	7	6,037	9.7%	7	850	20.7%	12	78,589	31
0904	くも膜下出血	2,307,322	0.2%	81	26	0.0%	112	9	0.2%	111	256,369	6
0905	脳内出血	8,165,705	0.5%	42	214	0.3%	85	74	1.8%	76	110,347	22
0906	脳梗塞	13,308,431	0.9%	29	1,503	2.4%	40	190	4.6%	52	70,044	33
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0908	その他の脳血管疾患	3,468,710	0.2%	76	253	0.4%	82	91	2.2%	71	38,118	52
0909	動脈硬化(症)	7,102,781	0.5%	48	1,017	1.6%	48	321	7.8%	34	22,127	71
0911	低血圧(症)	1,413,774	0.1%	91	212	0.3%	86	24	0.6%	99	58,907	37
0912	その他の循環器系の疾患	15,906,240	1.1%	25	771	1.2%	59	169	4.1%	56	94,120	27
X. 呼吸器系の疾患		84,496,279	5.6%		12,471	20.1%		2,151	52.5%		39,282	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	1,051,367	0.1%	99	815	1.3%	58	291	7.1%	38	3,613	118
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	1,938,619	0.1%	84	985	1.6%	51	378	9.2%	32	5,129	112
1003	その他の急性上気道感染症	7,881,185	0.5%	43	3,419	5.5%	18	994	24.2%	6	7,929	103

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	1,502,320,340			62,173			4,101		

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	6,976,583	0.5%	49	422	0.7%	70	184	4.5%	54	37,916	53
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	6,072,934	0.4%	55	2,593	4.2%	25	893	21.8%	10	6,801	109
1006	アレルギー性鼻炎	10,756,215	0.7%	35	3,919	6.3%	16	677	16.5%	17	15,888	83
1007	慢性副鼻腔炎	2,886,235	0.2%	78	1,014	1.6%	49	216	5.3%	45	13,362	92
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	193,339	0.0%	112	105	0.2%	100	42	1.0%	91	4,603	117
1009	慢性閉塞性肺疾患	7,295,729	0.5%	46	1,626	2.6%	38	215	5.2%	46	33,934	56
1010	喘息	12,875,353	0.9%	30	2,615	4.2%	24	410	10.0%	29	31,403	58
1011	その他の呼吸器系の疾患	26,568,720	1.8%	14	2,523	4.1%	27	900	21.9%	9	29,521	59
X I . 消化器系の疾患		119,322,123	7.9%		19,758	31.8%		1,891	46.1%		63,100	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	37,504	0.0%	117	12	0.0%	115	8	0.2%	112	4,688	116
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	9,263,227	0.6%	39	2,662	4.3%	23	317	7.7%	36	29,222	60
1105	胃炎及び十二指腸炎	16,108,618	1.1%	24	8,055	13.0%	6	957	23.3%	8	16,832	79
1106	痔核	1,231,467	0.1%	94	486	0.8%	67	68	1.7%	77	18,110	78
1107	アルコール性肝疾患	832,983	0.1%	102	132	0.2%	93	18	0.4%	107	46,277	46
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	3,653,317	0.2%	73	2,210	3.6%	32	183	4.5%	55	19,963	75
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	1,061,056	0.1%	98	418	0.7%	71	91	2.2%	71	11,660	94
1110	その他の肝疾患	3,153,369	0.2%	77	1,609	2.6%	39	404	9.9%	30	7,805	105
1111	胆石症及び胆のう炎	6,472,487	0.4%	51	549	0.9%	63	115	2.8%	68	56,282	39
1112	膵疾患	2,218,333	0.1%	83	329	0.5%	77	77	1.9%	75	28,810	64
1113	その他の消化器系の疾患	75,289,762	5.0%	6	13,402	21.6%	3	1,246	30.4%	3	60,425	35
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		31,538,716	2.1%		6,075	9.8%		1,226	29.9%		25,725	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	6,249,888	0.4%	52	495	0.8%	66	188	4.6%	53	33,244	57
1202	皮膚炎及び湿疹	14,354,903	1.0%	28	4,228	6.8%	12	879	21.4%	11	16,331	82
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	10,933,925	0.7%	33	2,874	4.6%	22	653	15.9%	18	16,744	80
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		122,934,339	8.2%		15,893	25.6%		1,770	43.2%		69,454	
1301	炎症性多発性関節障害	19,182,882	1.3%	21	2,358	3.8%	29	318	7.8%	35	60,324	36
1302	関節症	20,311,564	1.4%	20	3,939	6.3%	15	453	11.0%	24	44,838	49
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	22,473,483	1.5%	19	3,779	6.1%	17	461	11.2%	22	48,749	43
1304	椎間板障害	2,659,795	0.2%	79	941	1.5%	53	169	4.1%	56	15,738	85
1305	頸腕症候群	1,195,976	0.1%	95	904	1.5%	55	111	2.7%	69	10,775	97
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	9,321,419	0.6%	38	4,098	6.6%	14	594	14.5%	20	15,693	86
1307	その他の脊柱障害	3,700,267	0.2%	72	847	1.4%	56	167	4.1%	58	22,157	70
1308	肩の傷害<損傷>	4,387,967	0.3%	65	1,965	3.2%	34	268	6.5%	40	16,373	81
1309	骨の密度及び構造の障害	15,357,846	1.0%	26	3,375	5.4%	19	315	7.7%	37	48,755	42
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	24,343,140	1.6%	17	2,926	4.7%	21	591	14.4%	21	41,190	51

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	1,502,320,340			62,173			4,101		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	127,768,810	8.5%		5,703	9.2%		879	21.4%		145,357	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	2,376,308	0.2%	80	553	0.9%	62	116	2.8%	67	20,485	73
1402 腎不全	106,195,388	7.1%	1	1,419	2.3%	42	211	5.1%	49	503,296	3
1403 尿路結石症	1,776,488	0.1%	88	328	0.5%	78	67	1.6%	79	26,515	66
1404 その他の腎尿路系の疾患	8,934,535	0.6%	40	2,289	3.7%	30	445	10.9%	25	20,078	74
1405 前立腺肥大(症)	5,202,203	0.3%	58	1,181	1.9%	45	117	2.9%	66	44,463	50
1406 その他の男性生殖器の疾患	230,889	0.0%	110	99	0.2%	101	25	0.6%	97	9,236	101
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	1,235,888	0.1%	93	403	0.6%	72	68	1.7%	77	18,175	77
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	1,817,111	0.1%	87	333	0.5%	76	128	3.1%	64	14,196	90
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	4,771,072	0.3%		86	0.1%		25	0.6%		190,843	
1501 流産	56,324	0.0%	115	11	0.0%	116	4	0.1%	117	14,081	91
1502 妊娠高血圧症候群	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	4,714,748	0.3%	62	76	0.1%	106	22	0.5%	103	214,307	11
XVI. 周産期に発生した病態	1,413,409	0.1%		21	0.0%		11	0.3%		128,492	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	273,551	0.0%	108	8	0.0%	118	6	0.1%	113	45,592	48
1602 その他の周産期に発生した病態	1,139,858	0.1%	96	14	0.0%	114	6	0.1%	113	189,976	13
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	6,937,475	0.5%		267	0.4%		79	1.9%		87,816	
1701 心臓の先天奇形	98,225	0.0%	114	42	0.1%	110	14	0.3%	109	7,016	108
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	6,839,250	0.5%	50	229	0.4%	84	67	1.6%	79	102,078	25
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	30,785,227	2.0%		5,671	9.1%		1,063	25.9%		28,961	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	30,785,227	2.0%	12	5,671	9.1%	8	1,063	25.9%	5	28,961	63
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	49,935,703	3.3%		2,751	4.4%		768	18.7%		65,020	
1901 骨折	14,881,768	1.0%	27	845	1.4%	57	203	5.0%	50	73,309	32
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	4,890,863	0.3%	60	91	0.1%	103	37	0.9%	94	132,185	18
1903 熱傷及び腐食	2,247,462	0.1%	82	43	0.1%	109	19	0.5%	105	118,287	20
1904 中毒	572,897	0.0%	105	110	0.2%	99	53	1.3%	83	10,809	96
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	27,342,713	1.8%	13	1,958	3.1%	35	595	14.5%	19	45,954	47
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,949,013	0.1%		1,714	2.8%		249	6.1%		7,827	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	47,498	0.0%	116	11	0.0%	116	5	0.1%	115	9,500	99
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,502,320,340	62,173	4,101

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	1,901,515	0.1%	85	1,703	2.7%	37	245	6.0%	44	7,761	106
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		1,247,243	0.1%		461	0.7%		84	2.0%		14,848	
9999	分類外	1,247,243	0.1%	92	461	0.7%	68	84	2.0%	73	14,848	88

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
 ※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
 ※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
 ※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

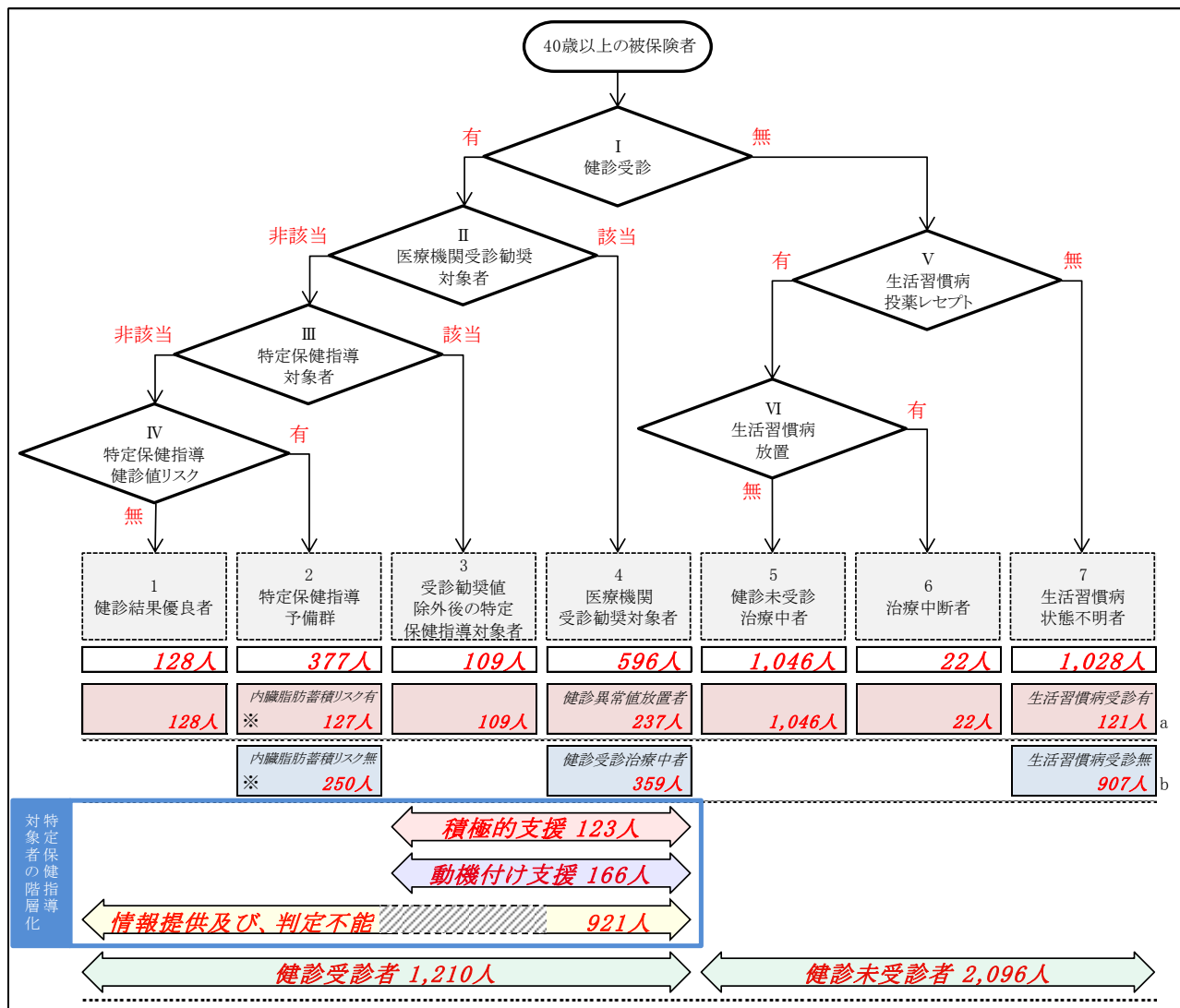
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

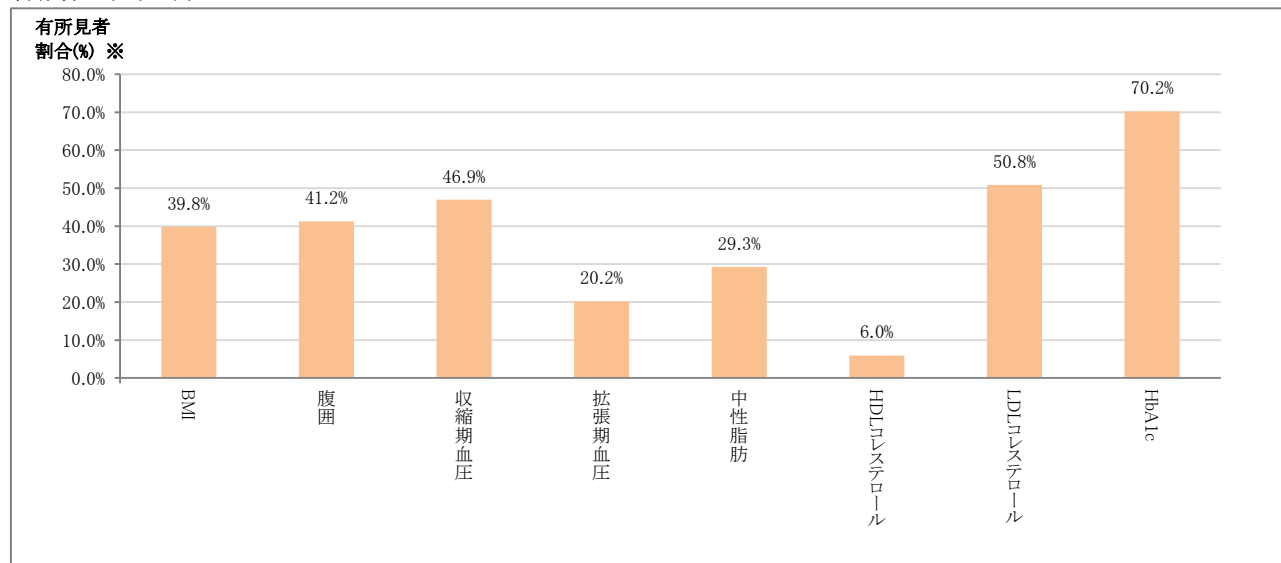
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	1,210	1,210	1,210	1,210
有所見者数(人) ※	482	499	568	244
有所見者割合(%) ※	39.8%	41.2%	46.9%	20.2%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	HbA1c
対象者数(人) ※	1,210	1,210	1,210	1,210
有所見者数(人) ※	354	72	615	850
有所見者割合(%) ※	29.3%	6.0%	50.8%	70.2%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

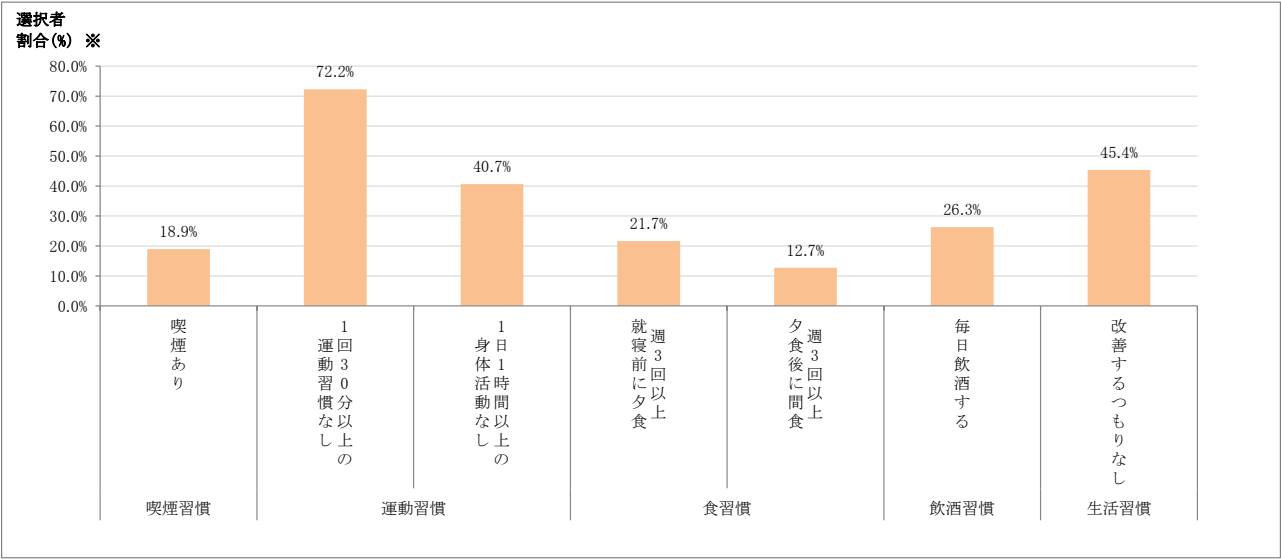
HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

	喫煙習慣	運動習慣	
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	1,210	1,210	1,210
選択者数(人) ※	229	874	492
選択者割合(%) ※	18.9%	72.2%	40.7%

	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	1,209	1,210	1,210	1,210
選択者数(人) ※	262	154	318	549
選択者割合(%) ※	21.7%	12.7%	26.3%	45.4%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

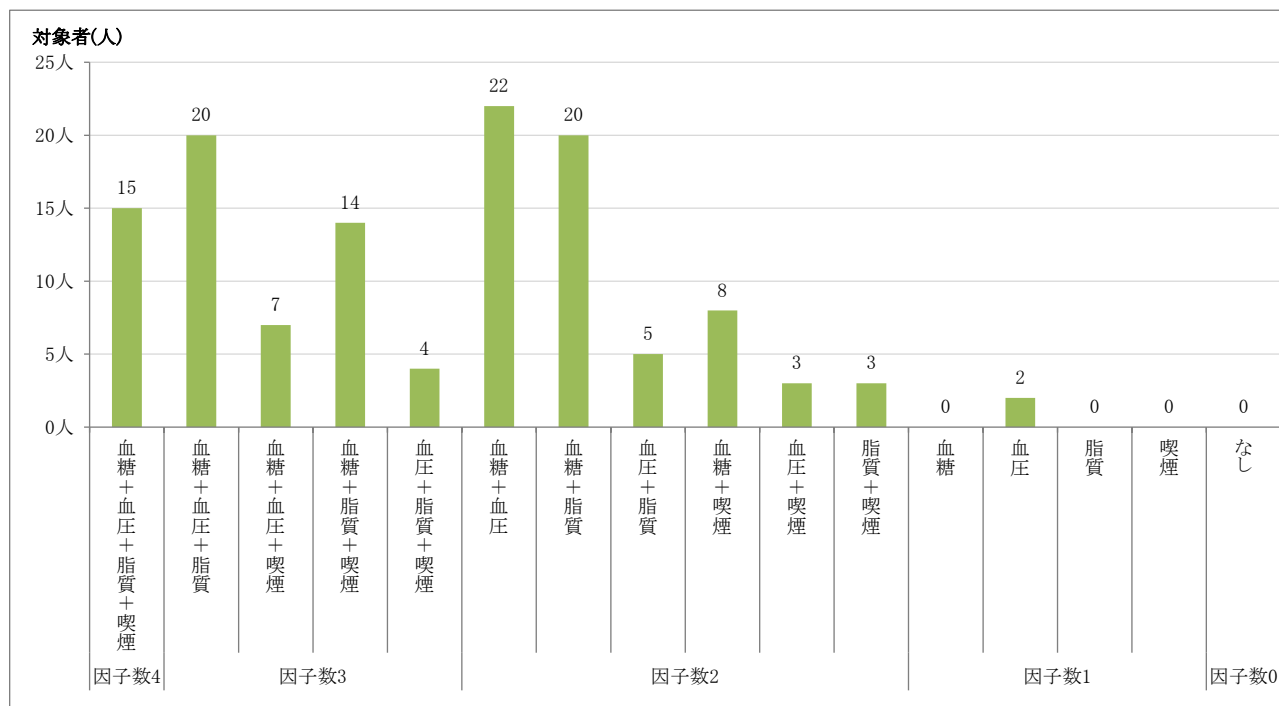
「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は289人である。このうち、積極的支援の対象者は123人、動機付け支援の対象者は166人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			289人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	15人	123人 43%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	20人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	7人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	14人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	4人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	22人	
	●		●			血糖＋脂質	20人	
	●			●		血圧＋脂質	5人	
		●		●		血糖＋喫煙	8人	
			●	●		血圧＋喫煙	3人	
				●		脂質＋喫煙	3人	
	●				因子数1	血糖	0人	
		●				血圧	2人	
			●			脂質	0人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	0人	
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	7人	166人 57%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	16人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	6人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	7人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	2人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	30人	
	●		●			血糖＋脂質	9人	
	●			●		血圧＋脂質	6人	
		●		●		血糖＋喫煙	3人	
			●	●		血圧＋喫煙	1人	
				●		脂質＋喫煙	0人	
	●				因子数1	血糖	47人	
		●				血圧	23人	
			●			脂質	9人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	0人	

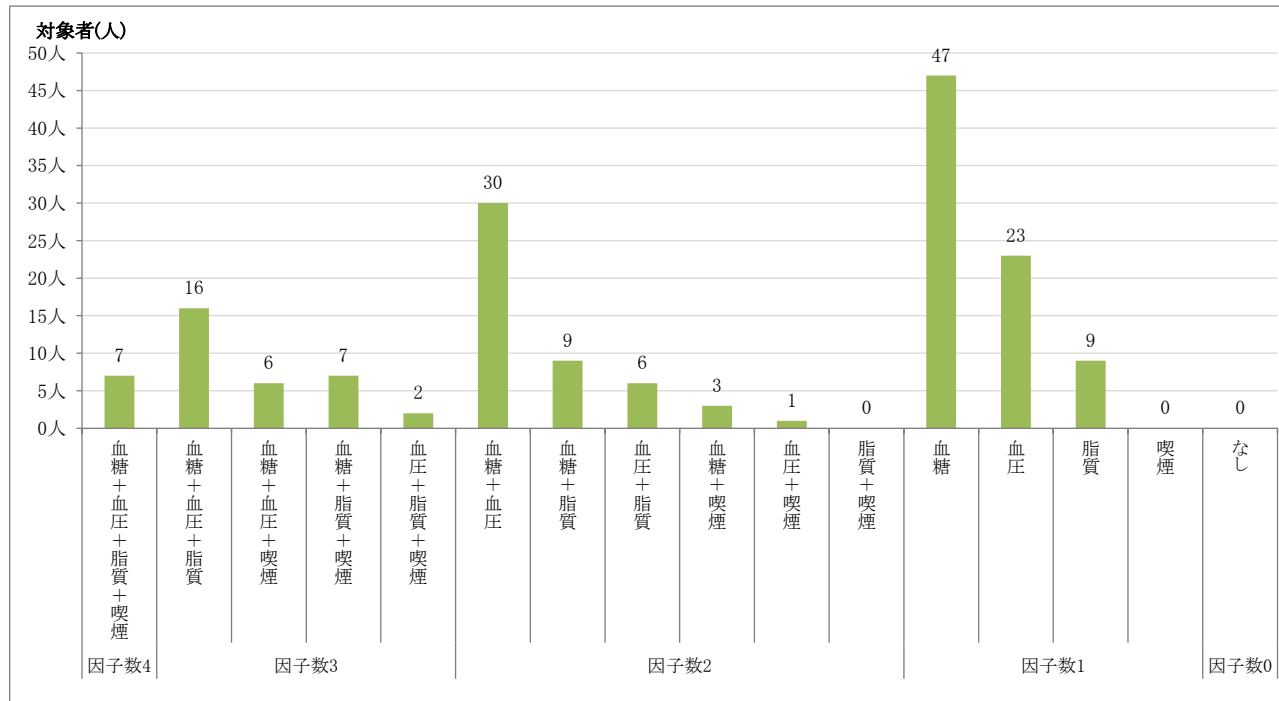
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。
リスク判定の詳細は以下の通りとする。
①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する237人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	237 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病等	44 人
		
除外患者を除いた候補者数		193 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者193人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 低↓	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 0 人	候補者C 3 人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 16 人	候補者D 32 人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 37 人	候補者F 105 人
		喫煙	非喫煙
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			193 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。

(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者33人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定

・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者

		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	22 人
	上記以外のグループ	11 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		33 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、難病等	2 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		31 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者31人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑ 高 効果 低 ↓	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 1 人	候補者A2 2 人	候補者A3 0 人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 2 人	候補者B2 8 人	候補者B3 1 人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 5 人	候補者C2 9 人	候補者C3 3 人
		毎月受診	2〜3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1〜候補者C3の患者数				31 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月〜平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、72.7%が生活習慣を起因とするものであり、その72.7%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

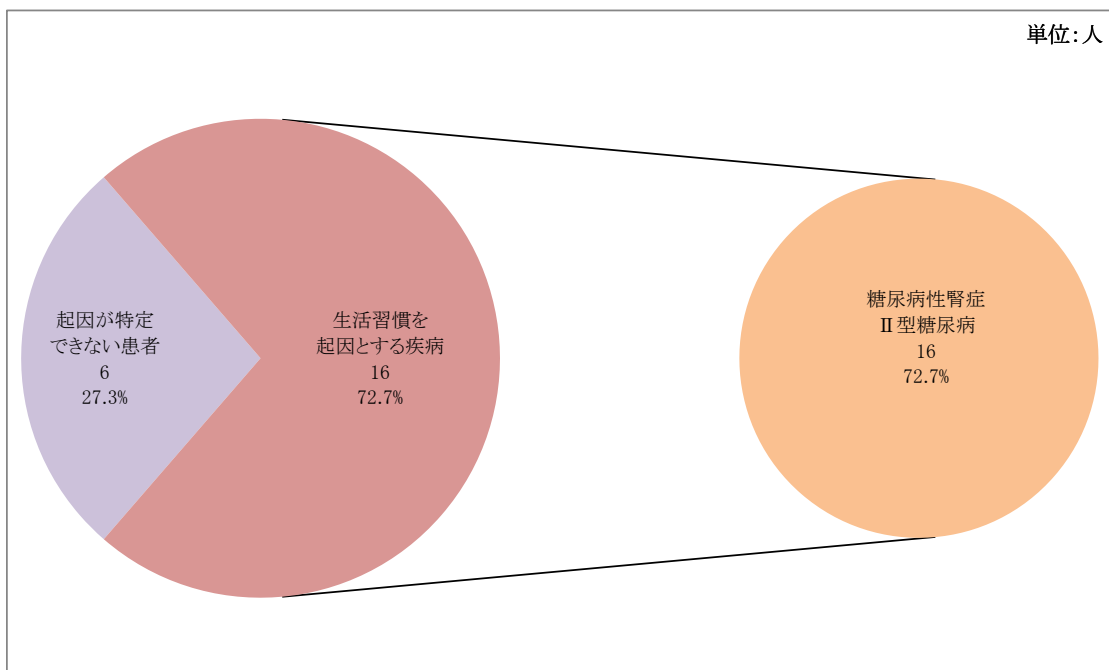
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	22
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	22

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

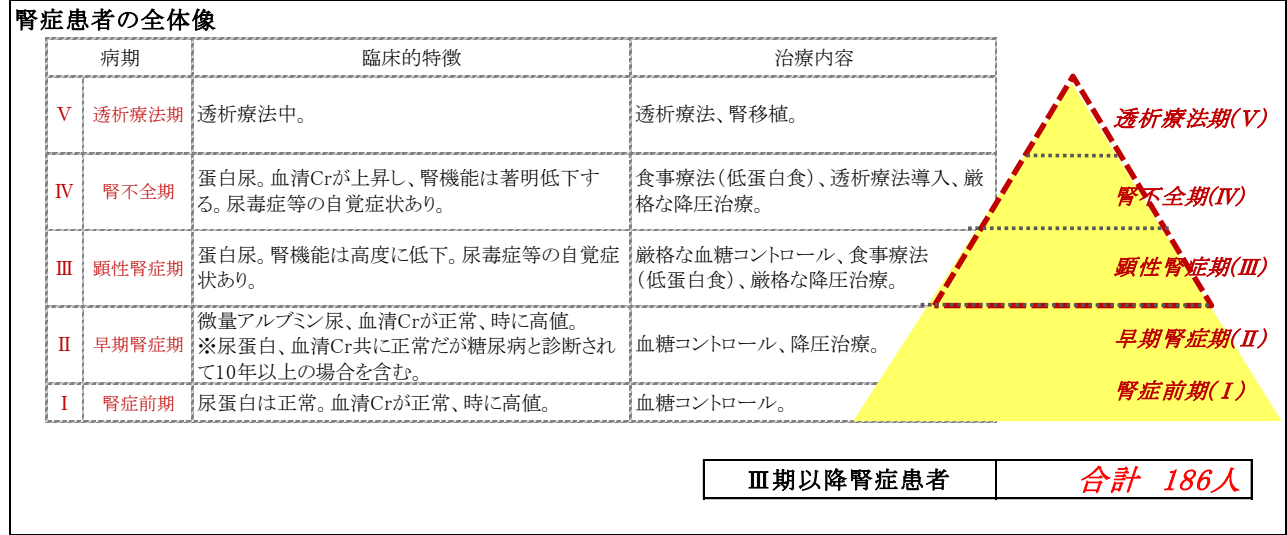
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者186人中43人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

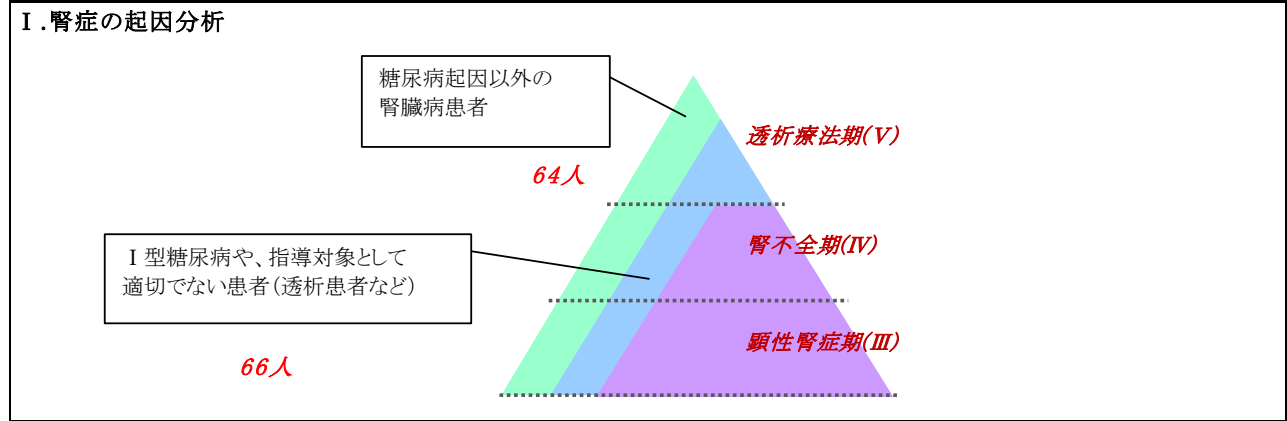
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、64人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、66人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

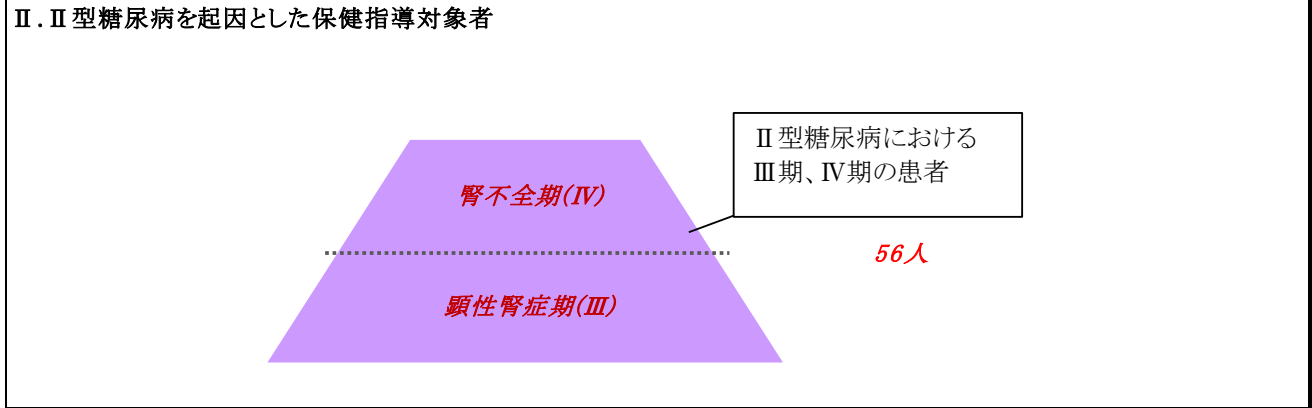
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて56人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

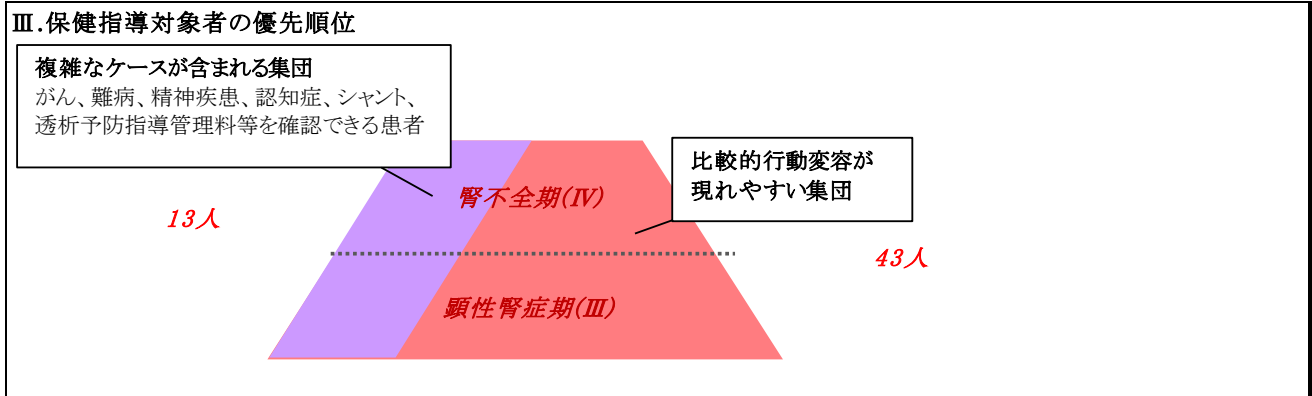


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。56人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、13人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、43人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

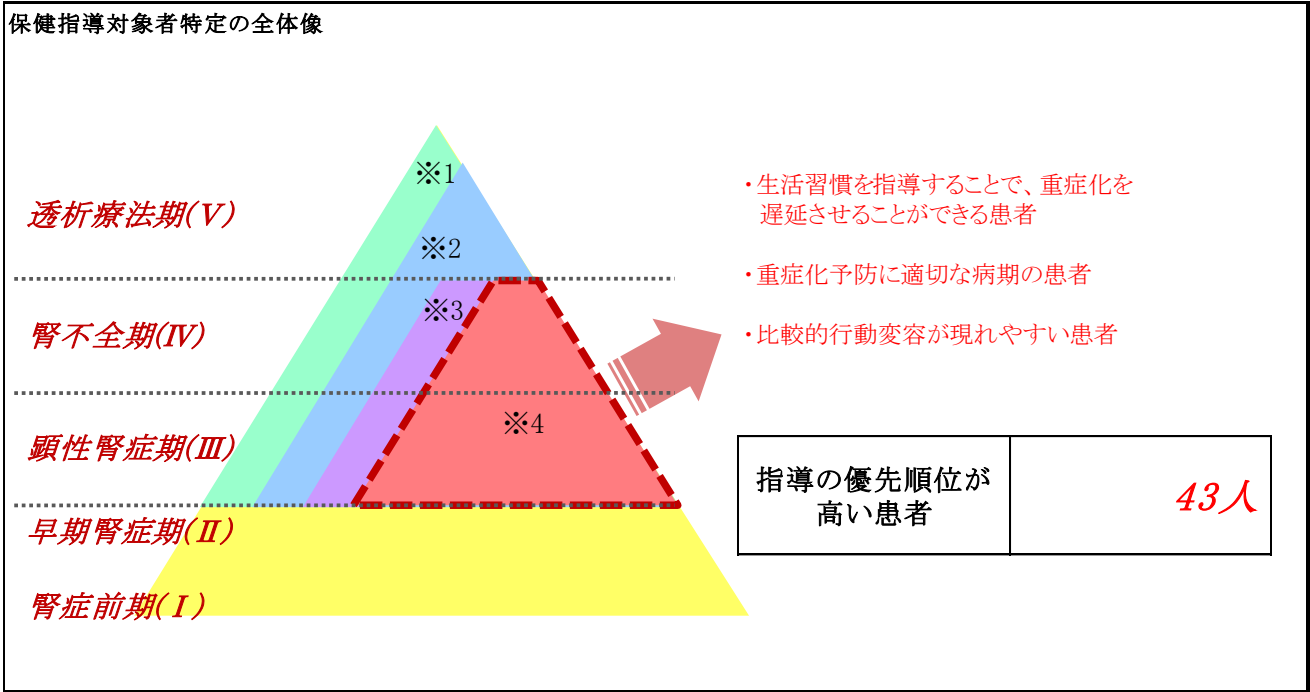
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、43人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



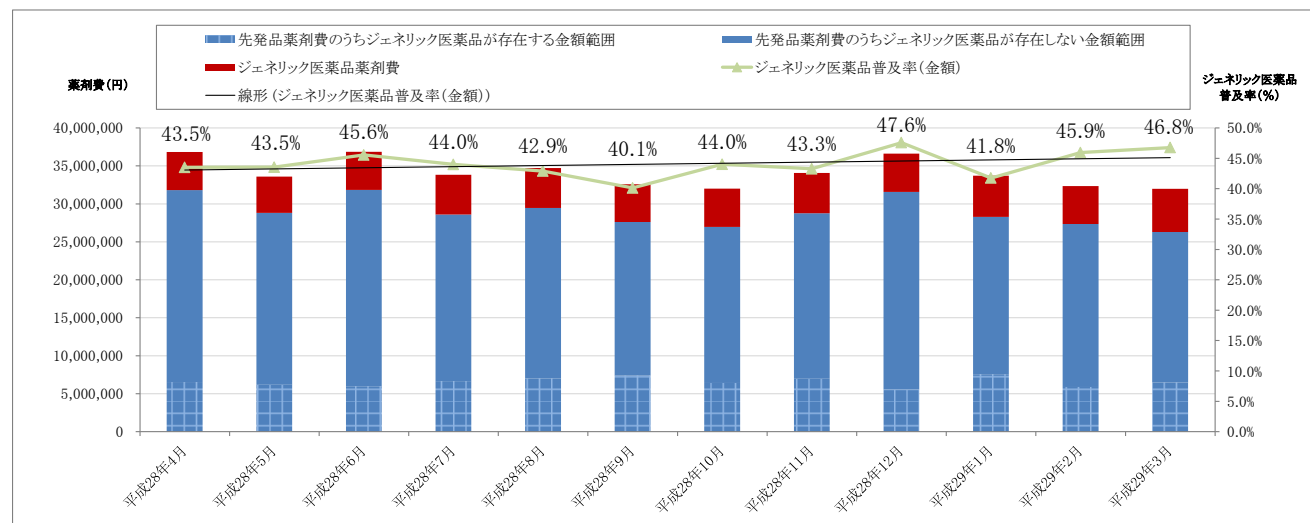
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者
※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)
※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)
※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(7) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は44.0%(金額ベース)、72.4%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



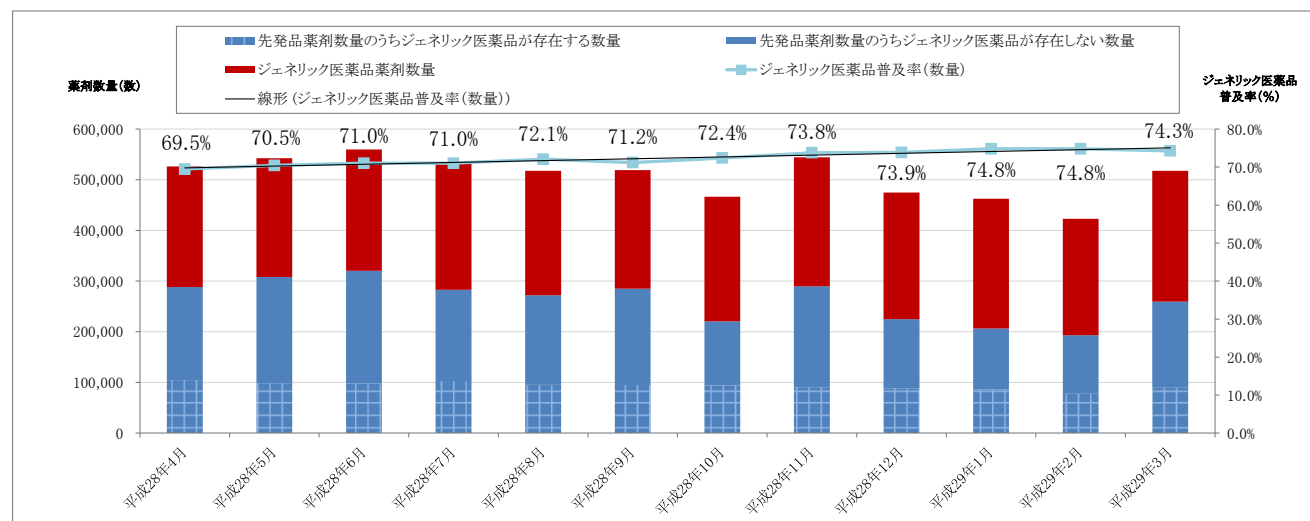
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

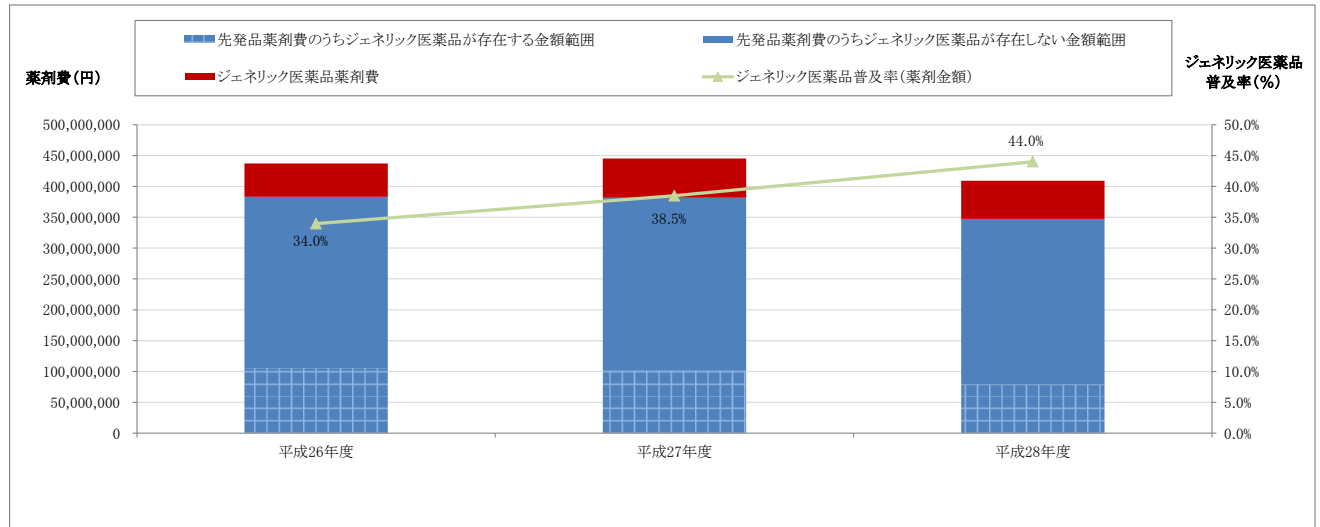
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)44.0%は、平成26年度34.0%より10.0ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)72.4%は、平成26年度60.1%より12.3ポイント上昇している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



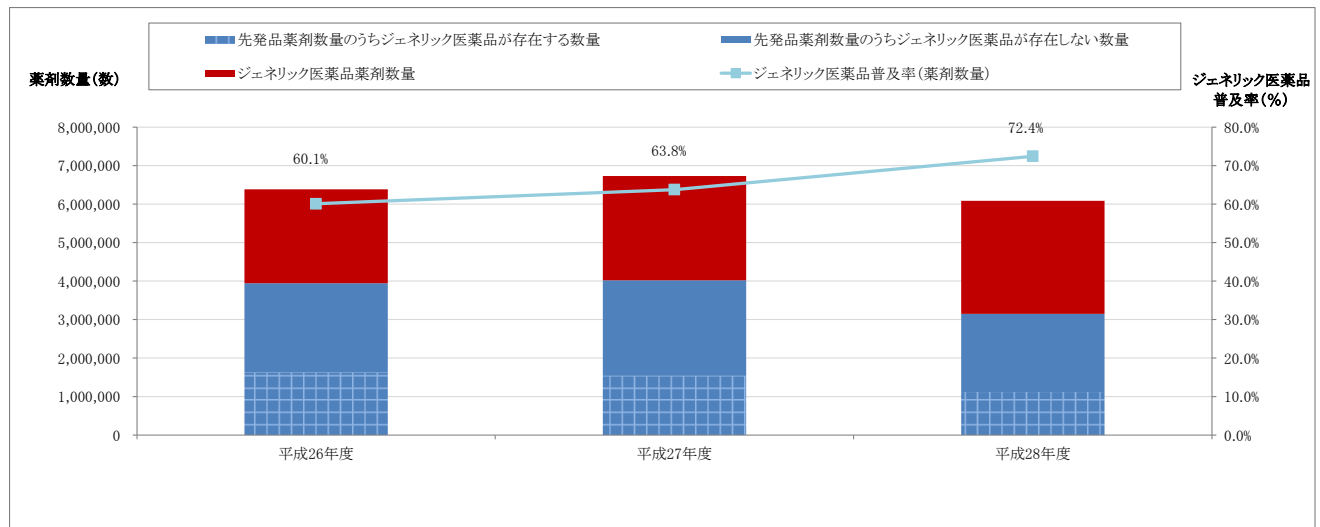
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

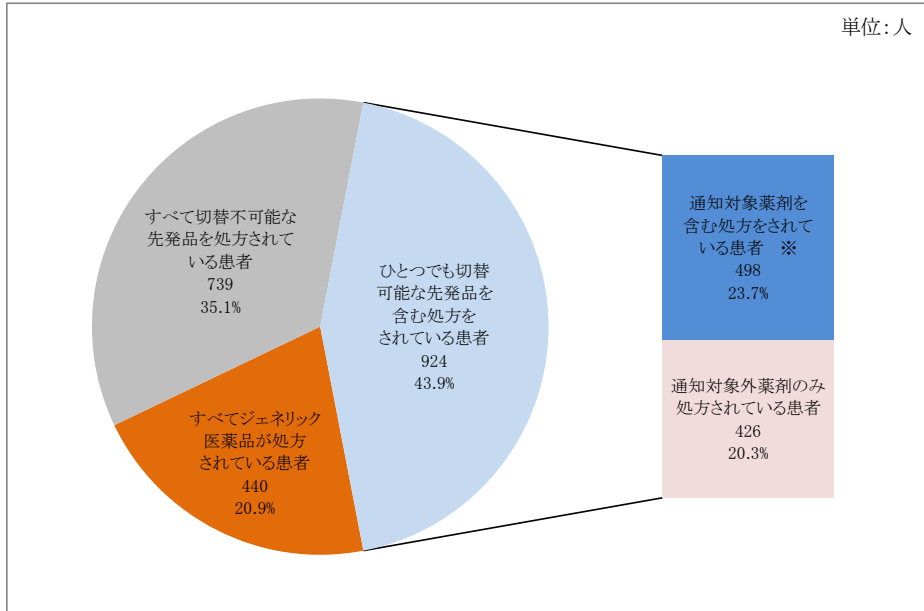
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は2,103人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は924人で患者数全体の43.9%を占める。さらにこのうち通知対象薬剤基準のみに絞り込むと、498人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の23.7%となる。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方ものは含まない。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	循環器系の疾患	250,471,775円
2位	新生物＜腫瘍＞	171,977,613円
3位	精神及び行動の障害	153,919,395円

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	2,151人
2位	内分泌，栄養及び代謝疾患	2,133人
3位	循環器系の疾患	1,992人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	315,409円
2位	妊娠，分娩及び産じょく	190,843円
3位	新生物＜腫瘍＞	181,220円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	腎不全	106,195,388円
2位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	94,525,495円
3位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	84,300,560円

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	1,534人
2位	糖尿病	1,418人
3位	その他の消化器系の疾患	1,246人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	909,137円
2位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	643,031円
3位	腎不全	503,296円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	412件
高額レセプト件数割合	0.7%
高額レセプト医療費割合	28.4%

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	237人
----------	------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	33人
------------	-----

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	22人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	16人

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	72.4%
--------------	-------

平成26年度から平成28年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	循環器系の疾患	232, 922, 193円
	2位	新生物＜腫瘍＞	196, 636, 715円
	3位	精神及び行動の障害	162, 121, 701円
平成27年度	1位	循環器系の疾患	217, 187, 745円
	2位	新生物＜腫瘍＞	171, 720, 222円
	3位	内分泌，栄養及び代謝疾患	170, 743, 017円
平成28年度	1位	循環器系の疾患	250, 471, 775円
	2位	新生物＜腫瘍＞	171, 977, 613円
	3位	精神及び行動の障害	153, 919, 395円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	107, 041, 439円
	2位	高血圧性疾患	101, 280, 964円
	3位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	81, 264, 267円
平成27年度	1位	高血圧性疾患	97, 194, 796円
	2位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	96, 679, 306円
	3位	腎不全	86, 701, 840円
平成28年度	1位	腎不全	106, 195, 388円
	2位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	94, 525, 495円
	3位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	84, 300, 560円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 26 年度	高額レセプト件数	383件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	25.2%
平成 27 年度	高額レセプト件数	370件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	24.6%
平成 28 年度	高額レセプト件数	412件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	28.4%

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	60.1%	63.8%	72.4%

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。	・特定健康診査の受診勧奨 ・特定保健指導の実施
◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者 健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。	・健診異常値放置者受診勧奨 ・生活習慣病治療中断者受診勧奨
◆糖尿病性腎症 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。	・糖尿病性腎症重症化予防
◆ジェネリック医薬品の普及率 国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。	・ジェネリック医薬品差額通知

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査 受診勧奨事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査受診対象者に健診の受診を促す。
特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備 群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。
健診異常値放置者 受診勧奨事業	健診異常値を放置している 対象者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにもかかわらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、受診勧奨通知書を送付する。
生活習慣病予防啓発事業	生活習慣病に対する正しい 知識の習得	生活習慣病を予防するための健康教室、健康相談、栄養教室を実施するほか、生活習慣病治療中断者に対し、医療機関への受診勧奨を行う。
糖尿病性腎症重症化 予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進 行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。
ジェネリック 医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及 率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
全受診対象者に対し、受診券を郵送する。 第1次集団健診終了後に未受診者を特定し、 第2次集団健診又は個別健診への受診勧奨 を実施する。	対象者への通知率 100%	特定健康診査受診率前年度比1%上昇 特定健康診査受診率 46%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 指導後に健康診査データより検査値の推移 を確認する。	対象者への通知率 100% 新規対象者への利用勧奨率 80%	指導対象者の実施率前年度比1%上昇 指導対象者の実施率 10%
健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知 書を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。受診 がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100% 通知後6ヶ月経過時の未受診者に対 する受診勧奨率 20%	対象者の医療機関受診率 50% 健診異常値放置者 20% 減少
地区ごとの健康教室、健康相談、栄養教室 を実施する。 生活習慣病治療中断者に受診勧奨通知を行 う。	開催回数 60回 対象者への通知率 100%	参加者の満足度（満点） 80% メタボリックシンドローム該当者・ 予備群割合減少率（対H29） 6% 対象者の医療機関受診率 50% 通知後受診者の医療機関受診継続率 50%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 指導後に健康診査データ、レセプトデータ より検査値の推移、定期的な通院の有無等 を確認する。	対象者の指導実施率 10% 以上	指導完了者の生活習慣改善率 50% 指導完了者の検査値改善率 50% 新規人工透析患者割合 0%
ジェネリック医薬品差額通知書を作成し、 郵送する。 対象者特定方法や効果検証方法、実施後の 効果を考慮し、継続を検討する。	対象者への通知率 100%	通知対象者のジェネリック医薬品普 及率(数量ベース) 30%上昇 ジェネリック医薬品普及率(数量 ベース) 80%

2. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	第1期			第2期					
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健康診査 受診勧奨事業				P			P		
	実施			D			D		
			評価			CA			CA
特定保健指導事業				P			P		
	実施			D			D		
			評価			CA			CA
健診異常値放置者 受診勧奨事業				P			P		
	実施			D			D		
			評価			CA			CA
生活習慣病予防啓発事業				P			P		
	実施			D			D		
			評価			CA			CA
糖尿病性腎症 重症化予防事業				P			P		
	実施			D			D		
			評価			CA			CA
ジェネリック 医薬品差額通知事業				P			P		
	実施			D			D		
			評価			CA			CA

3. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定健康診査受診勧奨事業

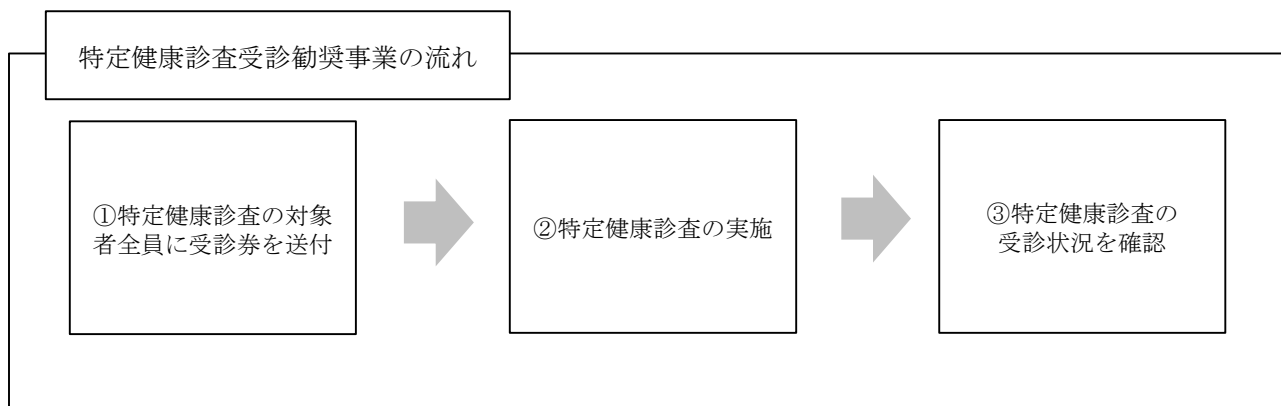
【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

特定健康診査受診対象者に特定健康診査の受診を促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者への通知率 100%	短期	特定健康診査受診率前年度比1%上昇	特定健康診査受診率を確認する。
	中長期	特定健康診査受診率 46%	特定健康診査受診率を確認する。

(2) 特定保健指導事業

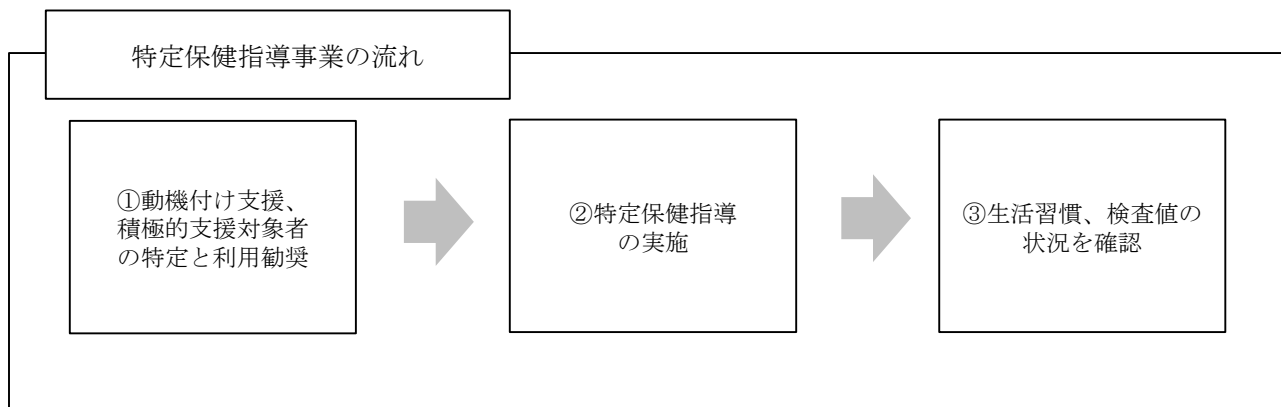
【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標		評価方法
対象者への通知率 100% 新規対象者への利用勧奨率 80%	短期	指導実施率前年度比1%上昇	特定保健指導実施率を確認する。
	中長期	対象者の指導実施率 10%	特定保健指導実施率を確認する。

(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業

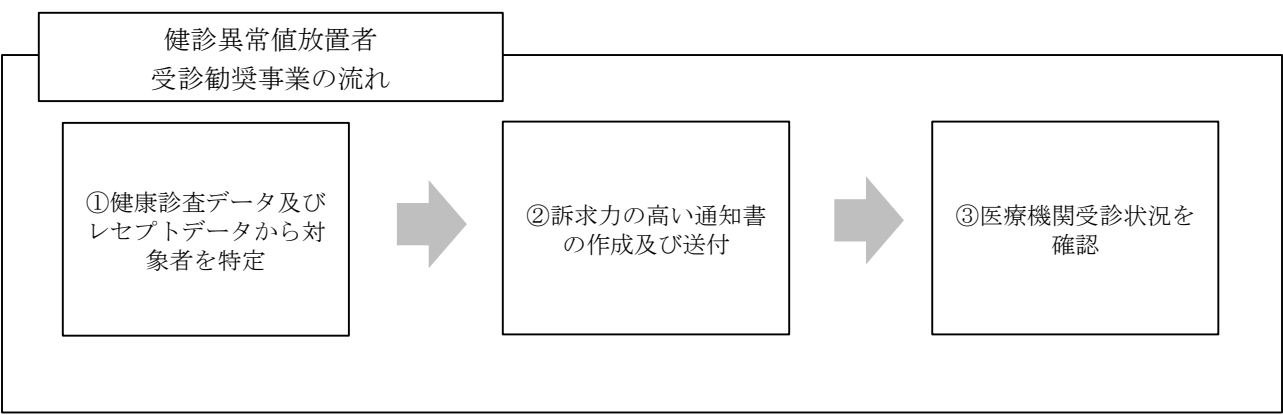
【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【実施概要】

特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者への通知率 100%	短期	対象者の医療機関受診率 50%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	健診異常値放置者 20% 減少	健診異常値放置者数の推移により確認する。

(4) 生活習慣病予防啓発事業

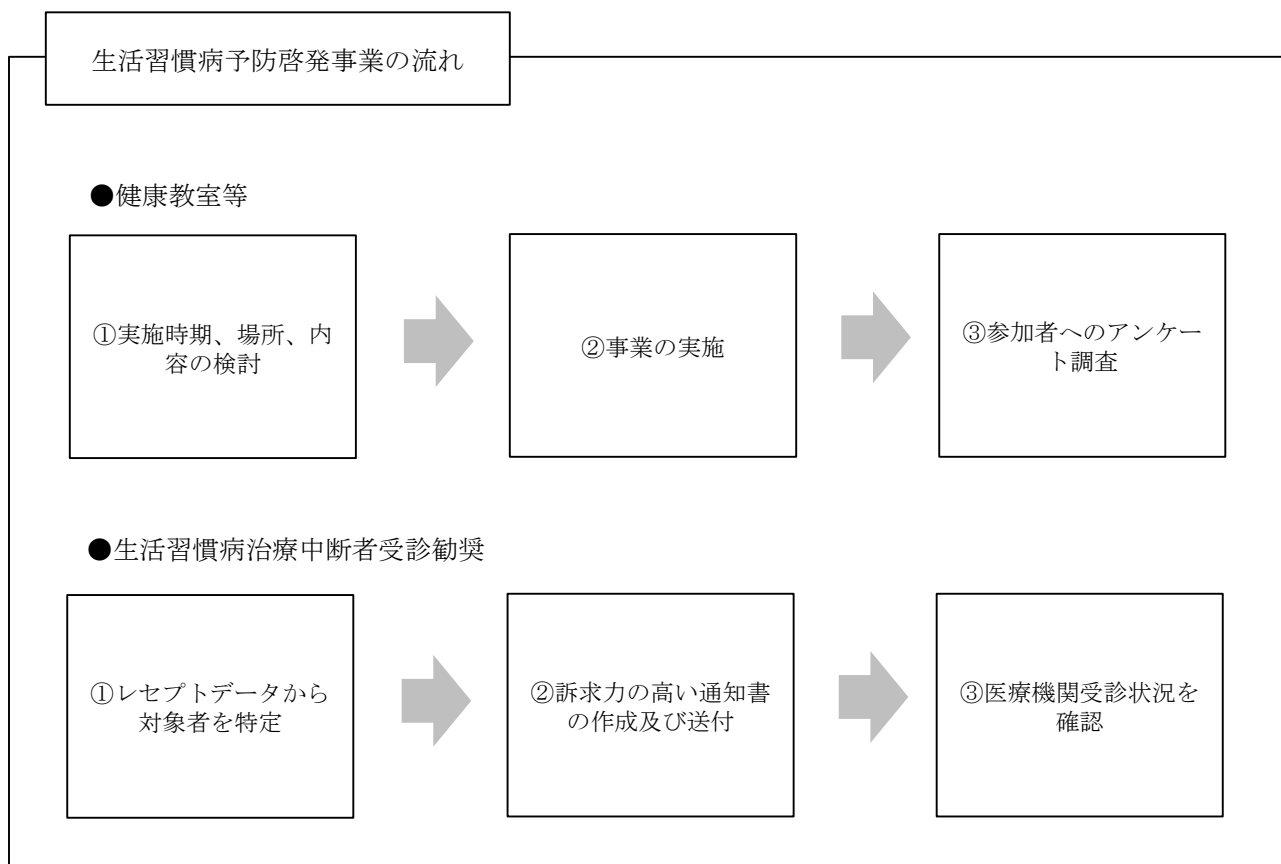
【事業目的】

生活習慣病に対する正しい知識の習得

【実施概要】

生活習慣病予防のための健康教室、健康相談、栄養教室等を実施するほか、生活習慣病治療中断に受診勧奨を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

健康教室等の実施

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
健康教室等実施回数 60回	短期	参加者の満足度（満点） 70% メタボリックシンドローム該当者・予備群割合前年度比1%減少	事後アンケート調査で確認する。 特定健診結果を確認する。
	中長期	参加者の満足度（満点） 80% メタボリックシンドローム該当者・予備群割合減少率（対H29） 6%	事後アンケート調査で確認する。 特定健診結果を確認する。

生活習慣病治療中断者受診勧奨

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者への通知率 100%	短期	対象者の医療機関受診率 50%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	通知後受診者の医療機関受診継続率 50%	通知後医療機関を受診したか確認する。

(5)糖尿病性腎症重症化予防事業

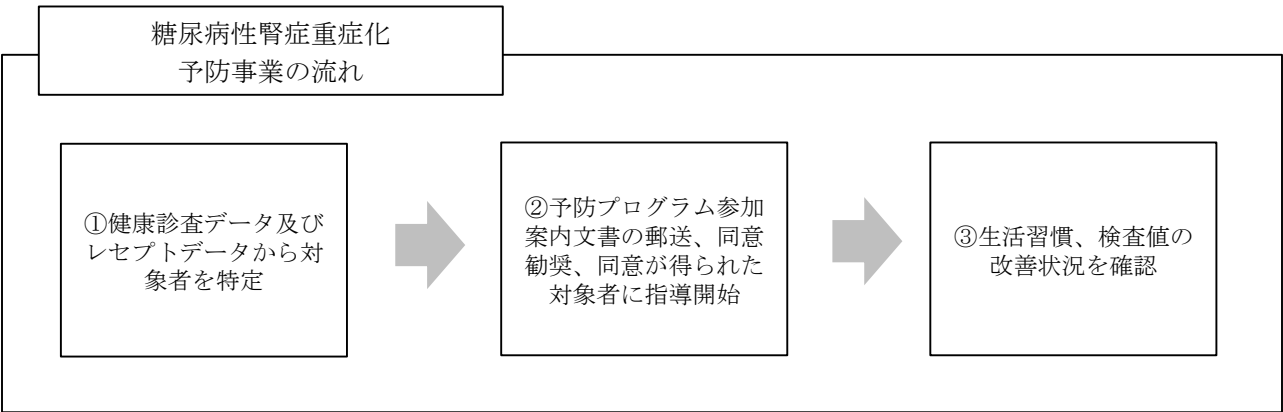
【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者の指導実施率 10% 以上	短期	指導完了者の生活習慣改善率 50% 指導完了者の検査値改善率 50%	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する。
	中長期	指導完了者の新規人工透析患者割合 0%	レセプトデータより新規人工透析患者数の推移を確認する。

(6)ジェネリック医薬品差額通知事業

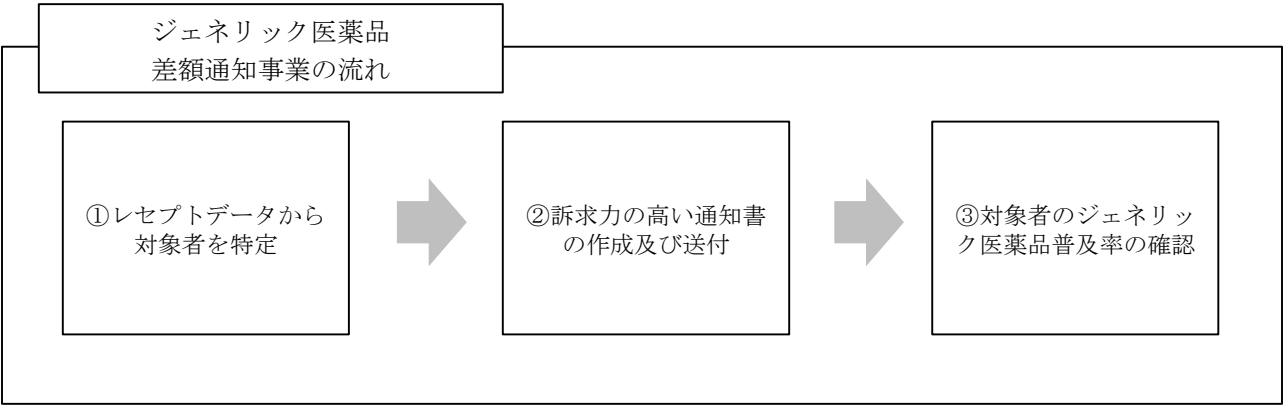
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

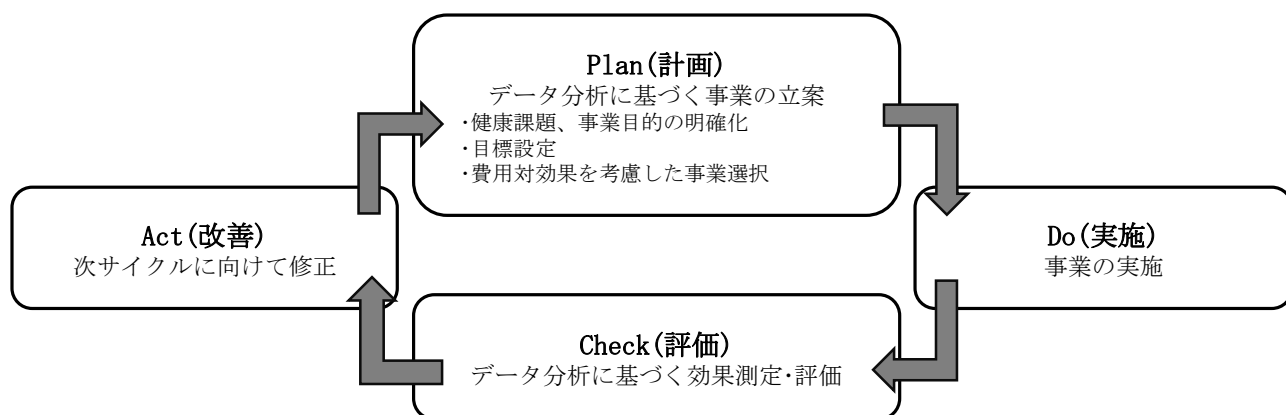
アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者への通知率 100%	短期	通知対象者のジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 30%上昇	通知前後のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を確認する。
	中長期	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)の推移により確認する。

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「南三陸町個人情報保護条例」「南三陸町情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

年度別 特定健康診査結果分析

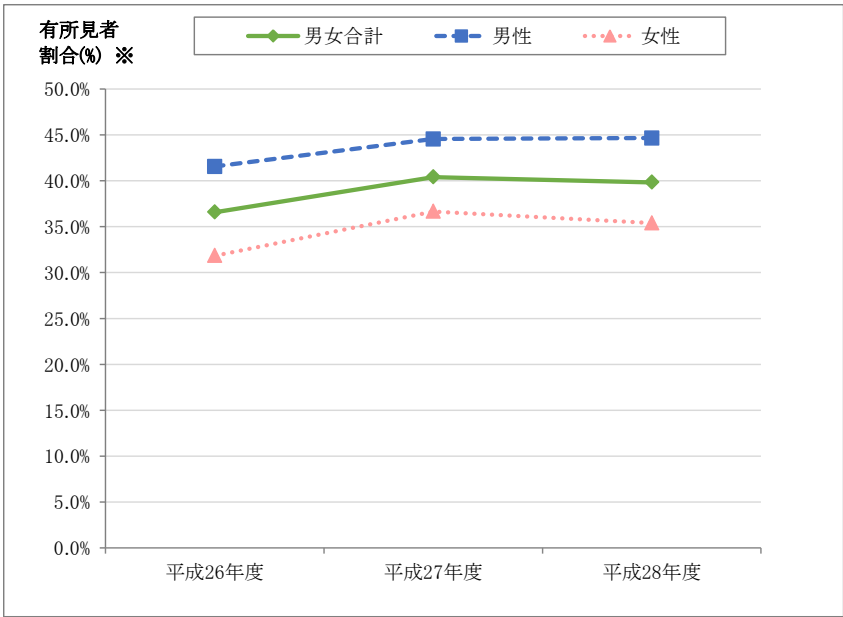
1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合 (BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	998	1,104	1,210
	有所見者数(人) ※	365	446	482
	有所見者割合(%) ※	36.6%	40.4%	39.8%
男性	対象者数(人) ※	486	523	580
	有所見者数(人) ※	202	233	259
	有所見者割合(%) ※	41.6%	44.6%	44.7%
女性	対象者数(人) ※	512	581	630
	有所見者数(人) ※	163	213	223
	有所見者割合(%) ※	31.8%	36.7%	35.4%

年度別 有所見者割合 (BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

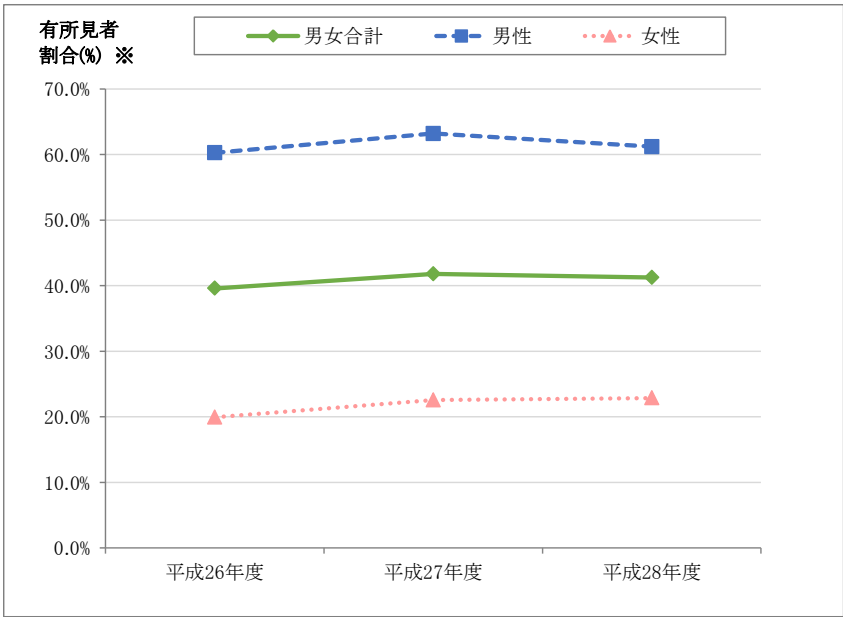
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	998	1,103	1,210
	有所見者数(人) ※	395	461	499
	有所見者割合(%) ※	39.6%	41.8%	41.2%
男性	対象者数(人) ※	486	522	580
	有所見者数(人) ※	293	330	355
	有所見者割合(%) ※	60.3%	63.2%	61.2%
女性	対象者数(人) ※	512	581	630
	有所見者数(人) ※	102	131	144
	有所見者割合(%) ※	19.9%	22.5%	22.9%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

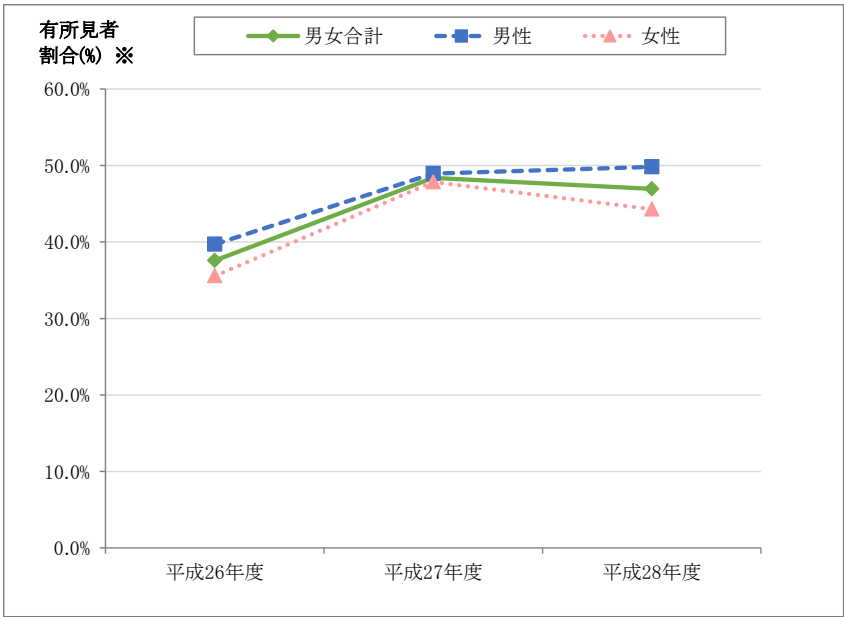
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲: 男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	998	1,104	1,210
	有所見者数(人) ※	375	534	568
	有所見者割合(%) ※	37.6%	48.4%	46.9%
男性	対象者数(人) ※	486	523	580
	有所見者数(人) ※	193	256	289
	有所見者割合(%) ※	39.7%	48.9%	49.8%
女性	対象者数(人) ※	512	581	630
	有所見者数(人) ※	182	278	279
	有所見者割合(%) ※	35.5%	47.8%	44.3%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

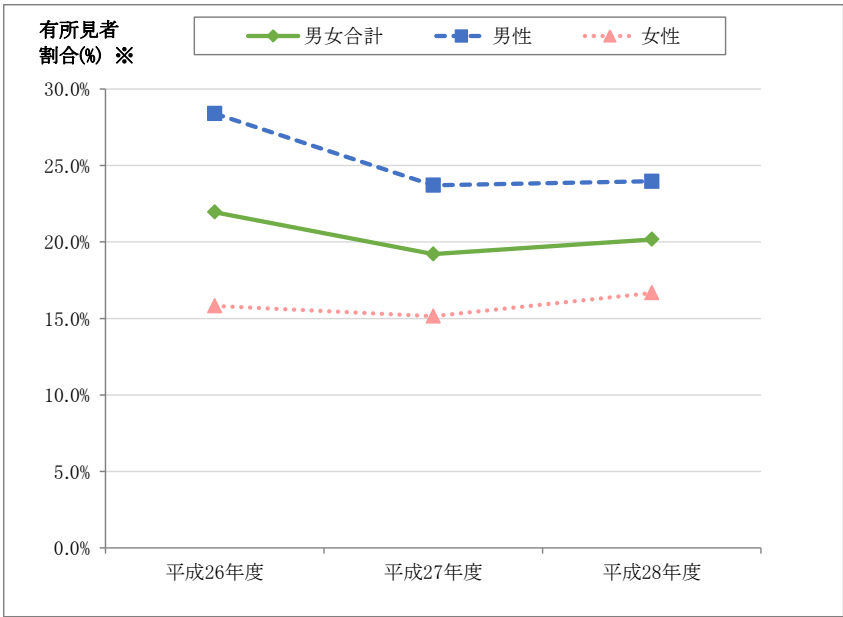
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	998	1,104	1,210
	有所見者数(人) ※	219	212	244
	有所見者割合(%) ※	21.9%	19.2%	20.2%
男性	対象者数(人) ※	486	523	580
	有所見者数(人) ※	138	124	139
	有所見者割合(%) ※	28.4%	23.7%	24.0%
女性	対象者数(人) ※	512	581	630
	有所見者数(人) ※	81	88	105
	有所見者割合(%) ※	15.8%	15.1%	16.7%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

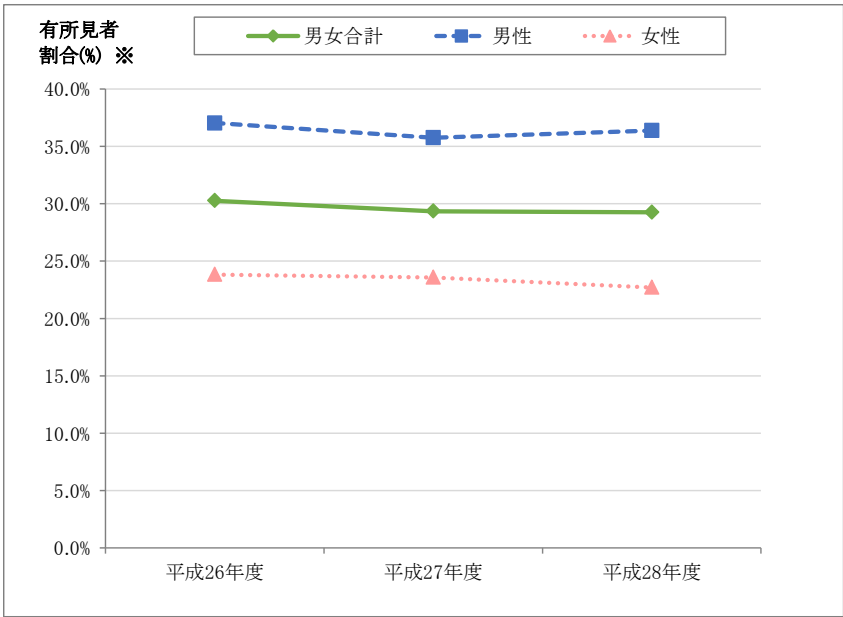
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	998	1,104	1,210
	有所見者数(人) ※	302	324	354
	有所見者割合(%) ※	30.3%	29.3%	29.3%
男性	対象者数(人) ※	486	523	580
	有所見者数(人) ※	180	187	211
	有所見者割合(%) ※	37.0%	35.8%	36.4%
女性	対象者数(人) ※	512	581	630
	有所見者数(人) ※	122	137	143
	有所見者割合(%) ※	23.8%	23.6%	22.7%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

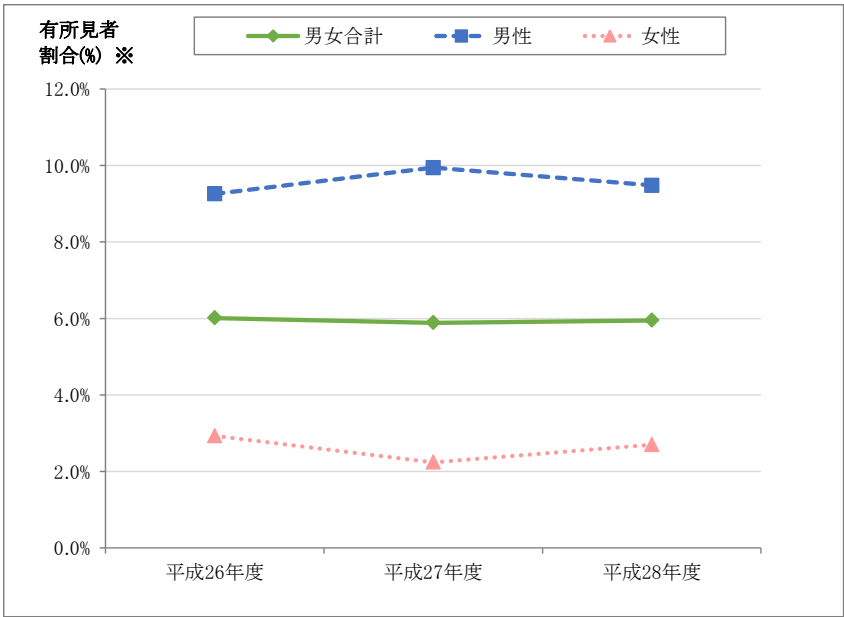
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	998	1,104	1,210
	有所見者数(人) ※	60	65	72
	有所見者割合(%) ※	6.0%	5.9%	6.0%
男性	対象者数(人) ※	486	523	580
	有所見者数(人) ※	45	52	55
	有所見者割合(%) ※	9.3%	9.9%	9.5%
女性	対象者数(人) ※	512	581	630
	有所見者数(人) ※	15	13	17
	有所見者割合(%) ※	2.9%	2.2%	2.7%

年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

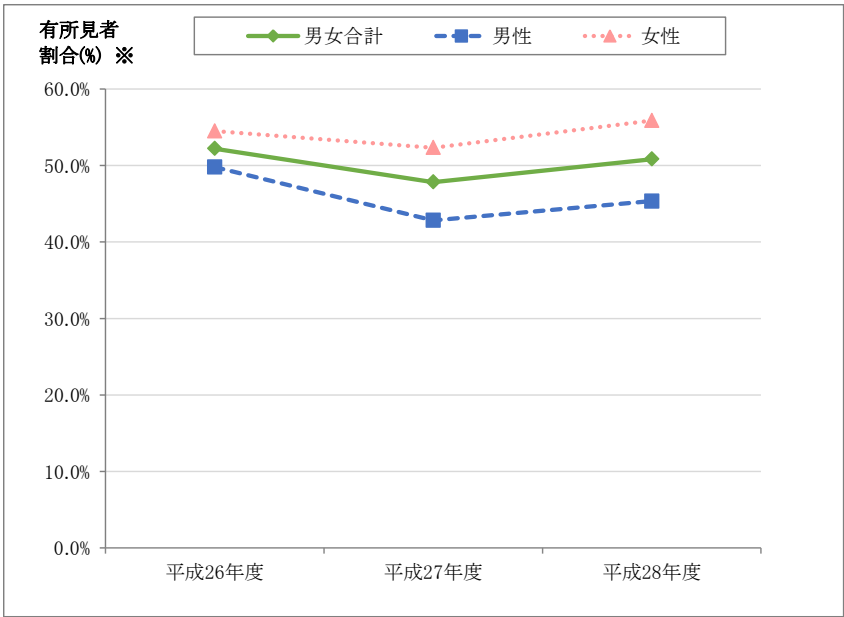
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	998	1,104	1,210
	有所見者数(人) ※	521	528	615
	有所見者割合(%) ※	52.2%	47.8%	50.8%
男性	対象者数(人) ※	486	523	580
	有所見者数(人) ※	242	224	263
	有所見者割合(%) ※	49.8%	42.8%	45.3%
女性	対象者数(人) ※	512	581	630
	有所見者数(人) ※	279	304	352
	有所見者割合(%) ※	54.5%	52.3%	55.9%

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

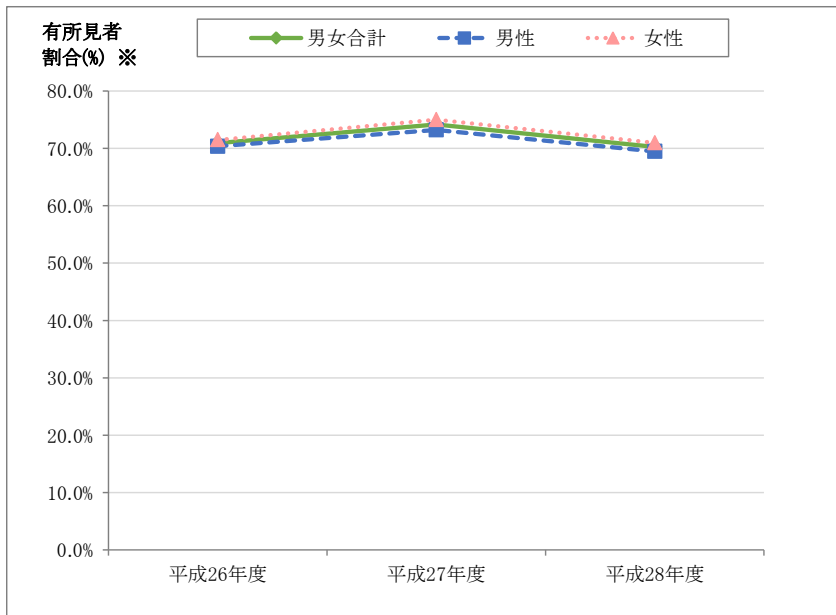
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	998	1,103	1,210
	有所見者数(人) ※	708	818	850
	有所見者割合(%) ※	70.9%	74.2%	70.2%
男性	対象者数(人) ※	486	523	580
	有所見者数(人) ※	342	383	403
	有所見者割合(%) ※	70.4%	73.2%	69.5%
女性	対象者数(人) ※	512	580	630
	有所見者数(人) ※	366	435	447
	有所見者割合(%) ※	71.5%	75.0%	71.0%

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

2. 質問別回答状況

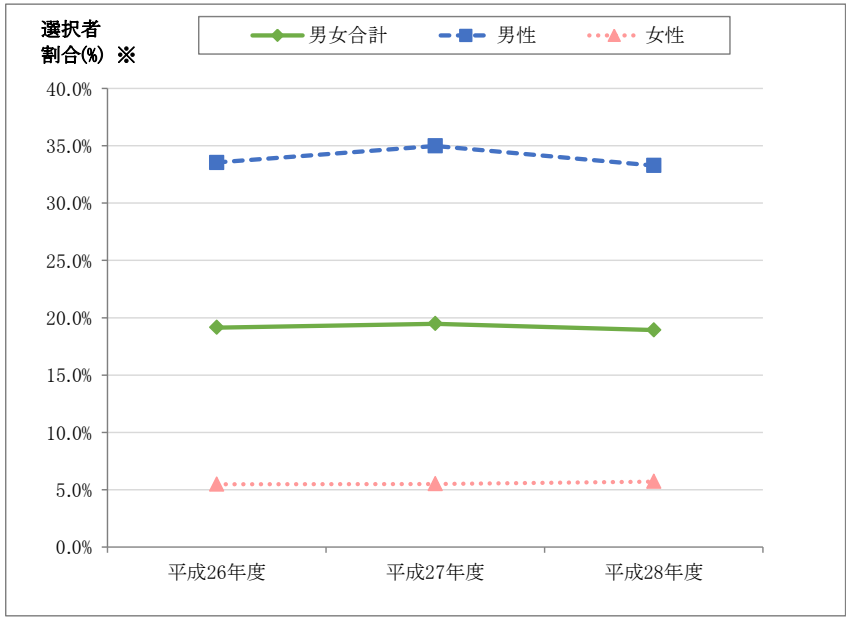
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	998	1,104	1,210
	選択者数(人) ※	191	215	229
	選択者割合(%) ※	19.1%	19.5%	18.9%
男性	質問回答者数(人) ※	486	523	580
	選択者数(人) ※	163	183	193
	選択者割合(%) ※	33.5%	35.0%	33.3%
女性	質問回答者数(人) ※	512	581	630
	選択者数(人) ※	28	32	36
	選択者割合(%) ※	5.5%	5.5%	5.7%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

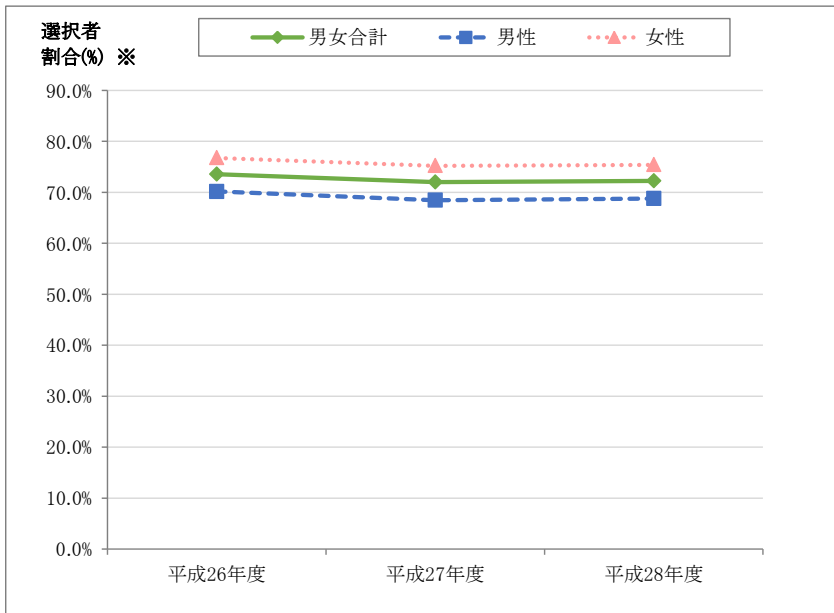
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	998	1,104	1,210
	選択者数(人) ※	734	795	874
	選択者割合(%) ※	73.5%	72.0%	72.2%
男性	質問回答者数(人) ※	486	523	580
	選択者数(人) ※	341	358	399
	選択者割合(%) ※	70.2%	68.5%	68.8%
女性	質問回答者数(人) ※	512	581	630
	選択者数(人) ※	393	437	475
	選択者割合(%) ※	76.8%	75.2%	75.4%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

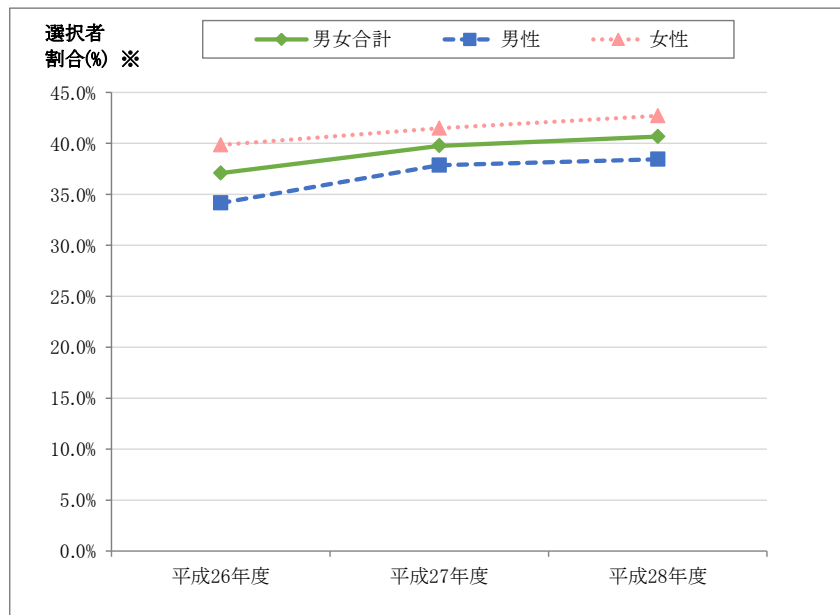
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	998	1,104	1,210
	選択者数(人) ※	370	439	492
	選択者割合(%) ※	37.1%	39.8%	40.7%
男性	質問回答者数(人) ※	486	523	580
	選択者数(人) ※	166	198	223
	選択者割合(%) ※	34.2%	37.9%	38.4%
女性	質問回答者数(人) ※	512	581	630
	選択者数(人) ※	204	241	269
	選択者割合(%) ※	39.8%	41.5%	42.7%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

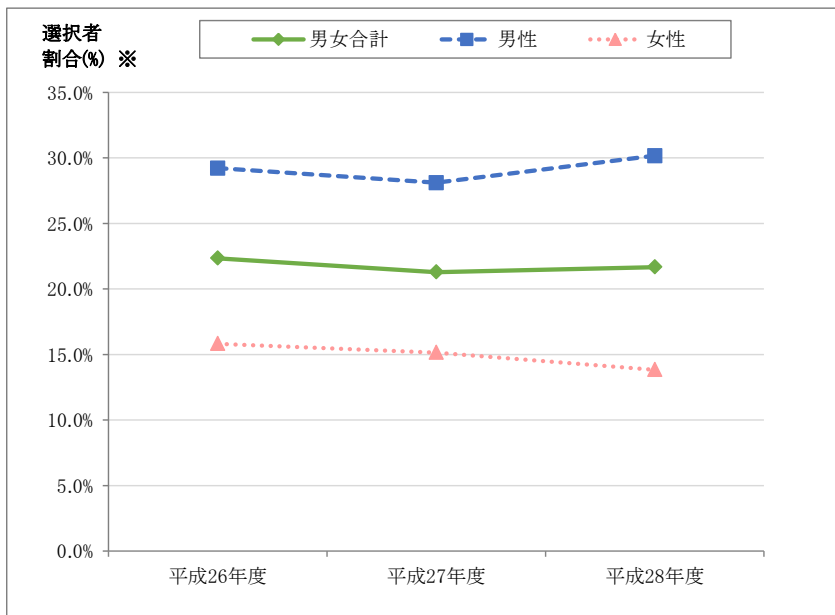
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	998	1,104	1,209
	選択者数(人) ※	223	235	262
	選択者割合(%) ※	22.3%	21.3%	21.7%
男性	質問回答者数(人) ※	486	523	580
	選択者数(人) ※	142	147	175
	選択者割合(%) ※	29.2%	28.1%	30.2%
女性	質問回答者数(人) ※	512	581	629
	選択者数(人) ※	81	88	87
	選択者割合(%) ※	15.8%	15.1%	13.8%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

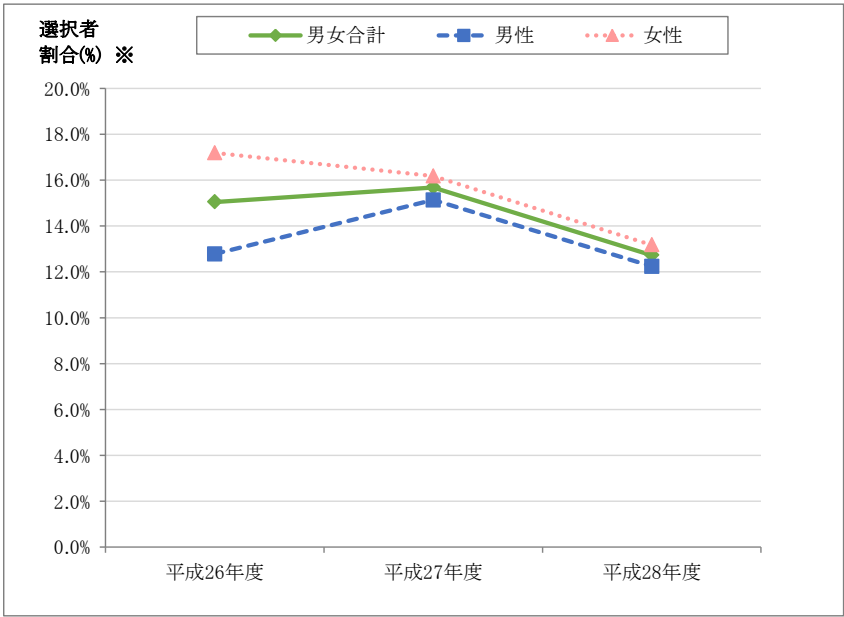
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	997	1,103	1,210
	選択者数(人) ※	150	173	154
	選択者割合(%) ※	15.0%	15.7%	12.7%
男性	質問回答者数(人) ※	485	522	580
	選択者数(人) ※	62	79	71
	選択者割合(%) ※	12.8%	15.1%	12.2%
女性	質問回答者数(人) ※	512	581	630
	選択者数(人) ※	88	94	83
	選択者割合(%) ※	17.2%	16.2%	13.2%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



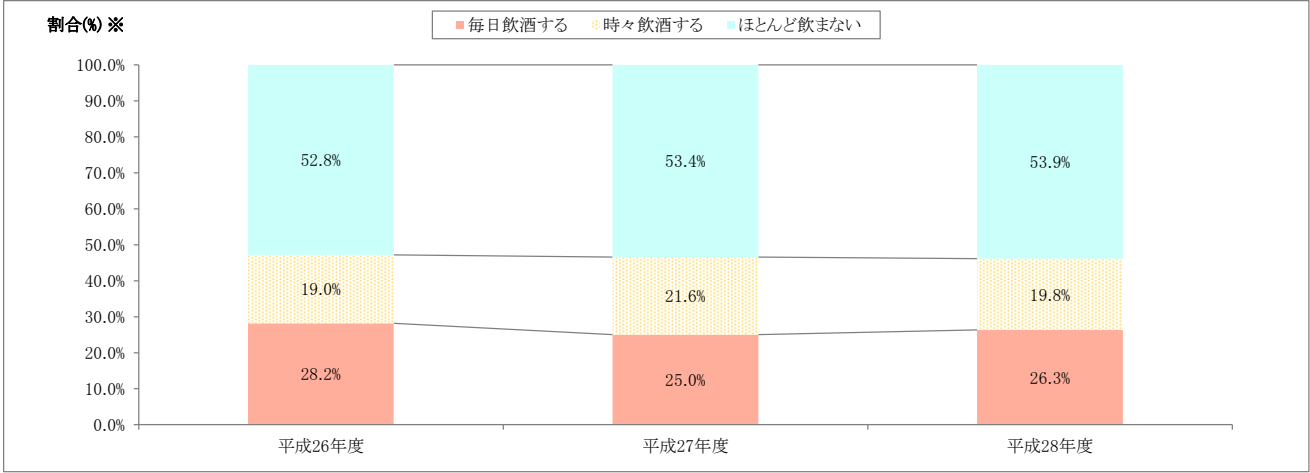
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

④飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	998	281	28.2%	190	19.0%	527	52.8%
平成27年度	1,104	276	25.0%	238	21.6%	590	53.4%
平成28年度	1,210	318	26.3%	240	19.8%	652	53.9%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月 健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

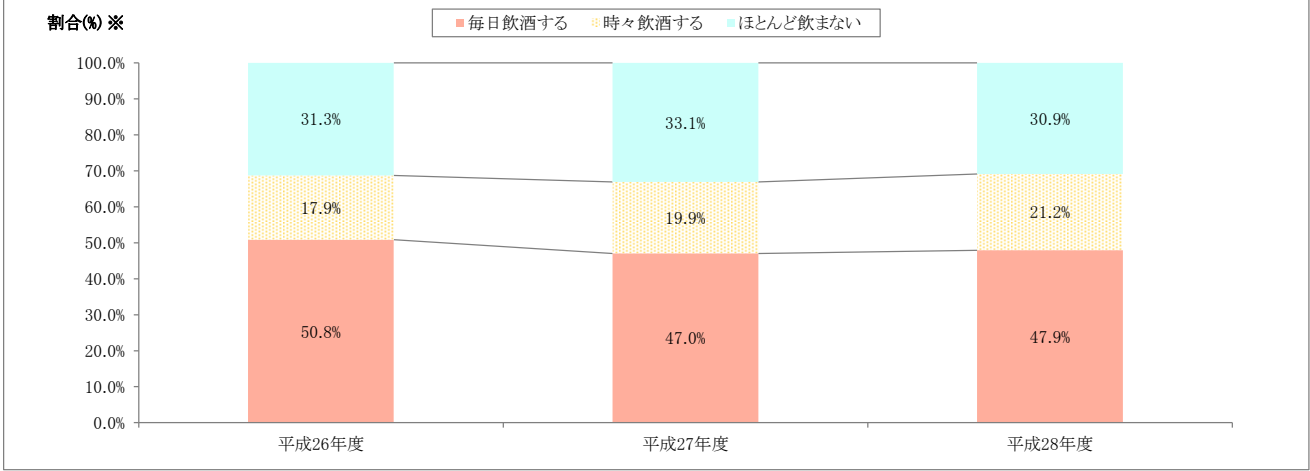
※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	486	247	50.8%	87	17.9%	152	31.3%
平成27年度	523	246	47.0%	104	19.9%	173	33.1%
平成28年度	580	278	47.9%	123	21.2%	179	30.9%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月 健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

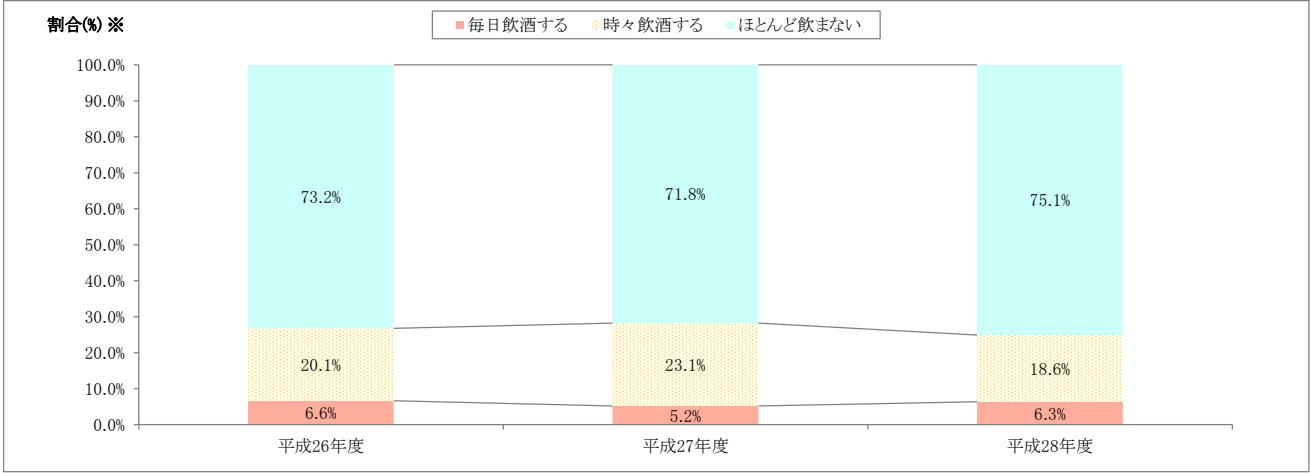
※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	512	34	6.6%	103	20.1%	375	73.2%
平成27年度	581	30	5.2%	134	23.1%	417	71.8%
平成28年度	630	40	6.3%	117	18.6%	473	75.1%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月 健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

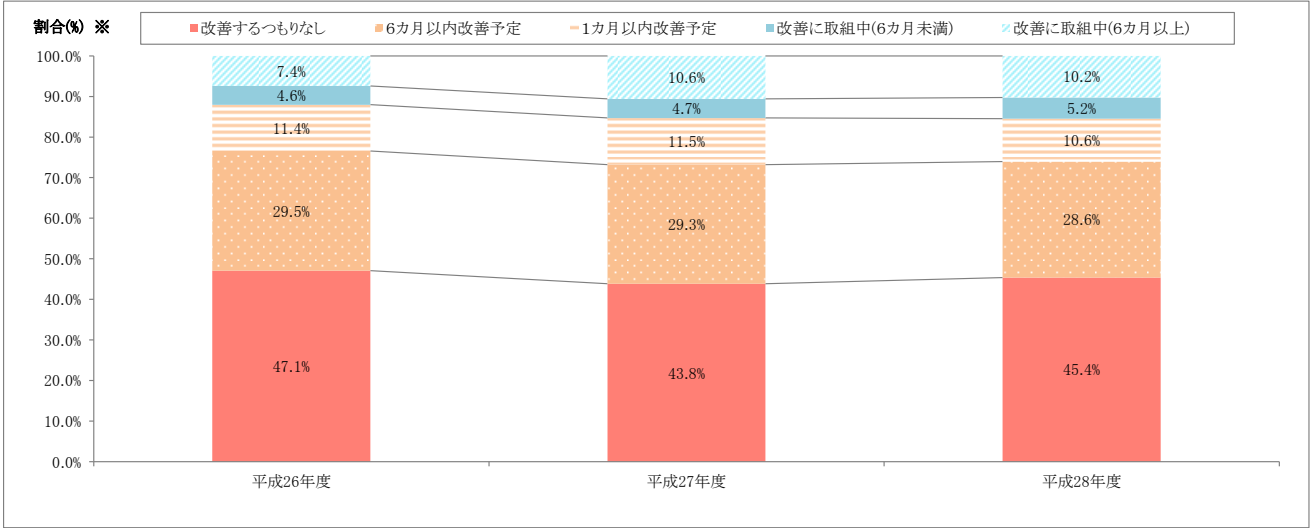
⑤生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	998	470	47.1%	294	29.5%	114	11.4%
平成27年度	1,104	484	43.8%	324	29.3%	127	11.5%
平成28年度	1,210	549	45.4%	346	28.6%	128	10.6%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	998	46	4.6%	74	7.4%
平成27年度	1,104	52	4.7%	117	10.6%
平成28年度	1,210	63	5.2%	124	10.2%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

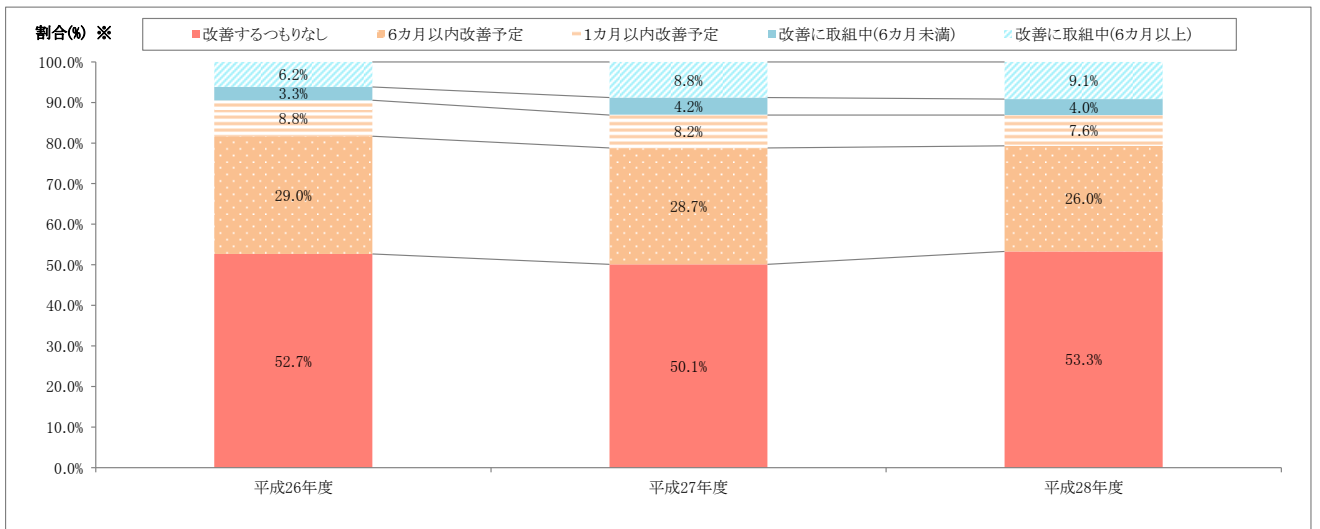
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	486	256	52.7%	141	29.0%	43	8.8%
平成27年度	523	262	50.1%	150	28.7%	43	8.2%
平成28年度	580	309	53.3%	151	26.0%	44	7.6%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	486	16	3.3%	30	6.2%
平成27年度	523	22	4.2%	46	8.8%
平成28年度	580	23	4.0%	53	9.1%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

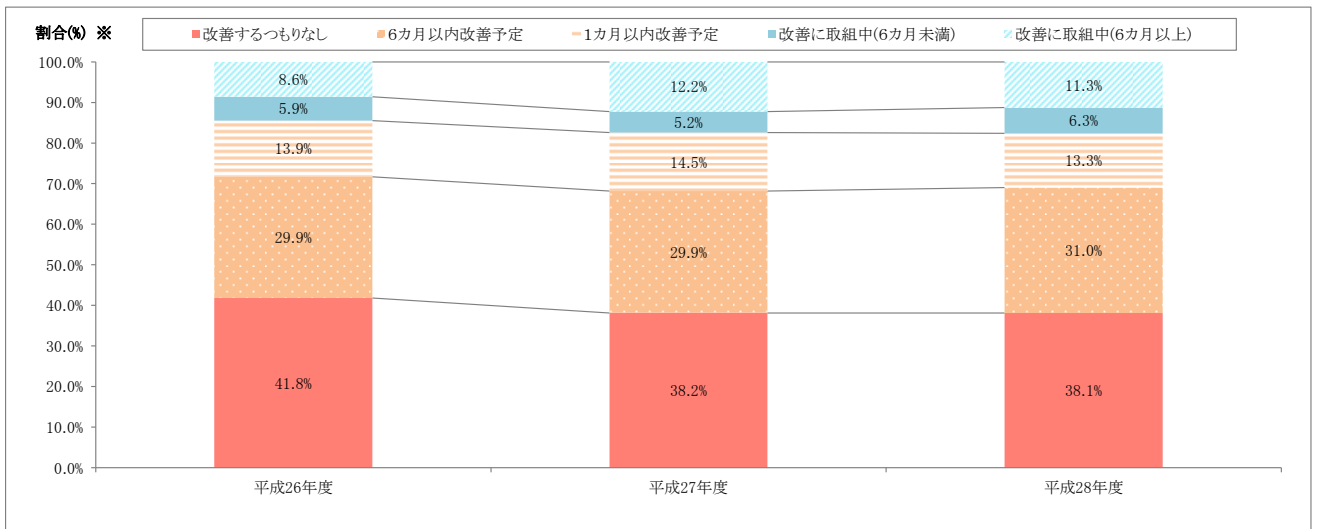
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	512	214	41.8%	153	29.9%	71	13.9%
平成27年度	581	222	38.2%	174	29.9%	84	14.5%
平成28年度	630	240	38.1%	195	31.0%	84	13.3%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	512	30	5.9%	44	8.6%
平成27年度	581	30	5.2%	71	12.2%
平成28年度	630	40	6.3%	71	11.3%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

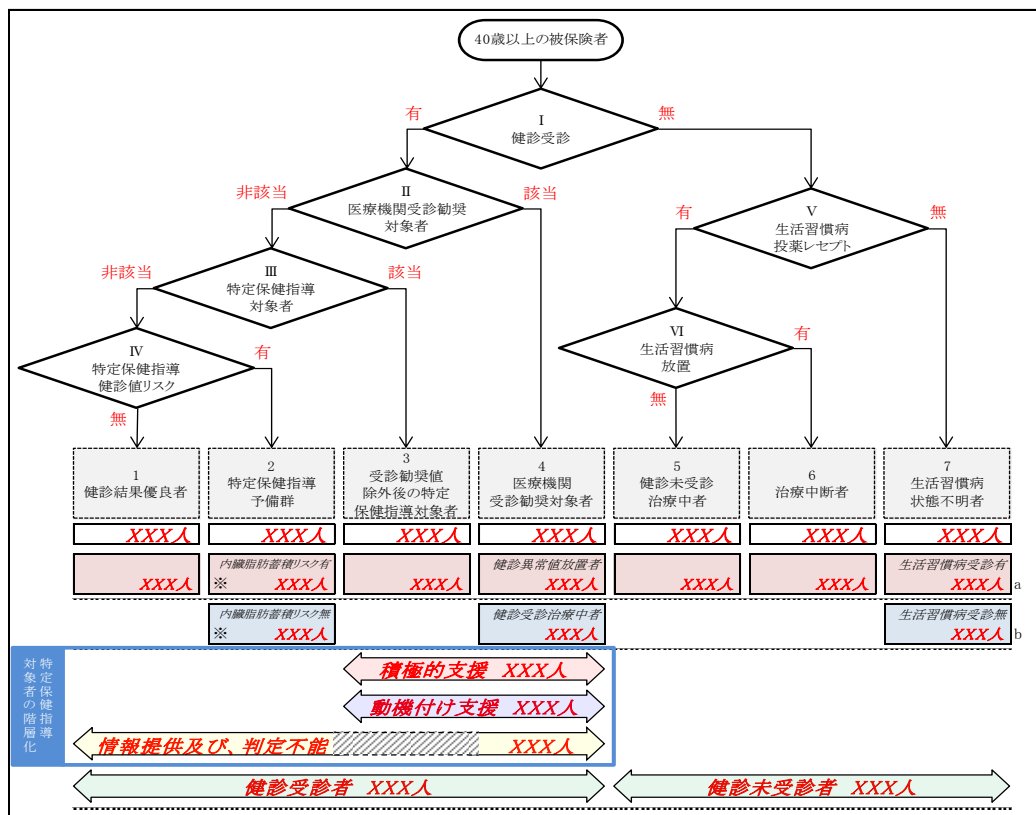
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診** …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者** …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者** …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク** …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト** …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置** …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

健診受診あり

- 1. 健診結果優良者** …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
- 2. 特定保健指導予備群** …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有** …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無** …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
- 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者** …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
- 4. 医療機関受診勧奨対象者** …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診異常値放置者** …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者** …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。

健診受診なし

- 5. 健診未受診治療中者** …生活習慣病治療中の者。
- 6. 治療中断者** …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
- 7. 生活習慣病状態不明者** …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有** …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無** …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。